

平成29年度
電気ホイストに関する使用状況調査
報 告 書

平成30年3月



一般社団法人 日本電機工業会

まえがき

一般社団法人 日本電機工業会 電気ホイス業務専門委員会では、平成 23 年度(2011 年度)以来、6 年ぶりに電気ホイスの使用状況を調査しました。

前回は、平成 22 年度(2010 年度)の電気ホイスセットメーカー(製造事業者)の納入先・取扱い実績や、電気ホイスユーザーの設置・稼働実績、評価、選定条件等を調査しましたが、平成 23 年(2011 年)3 月に発生した東日本大震災を踏まえた電気ホイスに対する需要やニーズ等に関するご意見も報告書に反映することができました。

今回の調査は、平成 28 年度(2016 年度)を対象としたもので、電気ホイスの需要の実態、ニーズを分析し、今後の製品開発に役立てようと実施したものです。

今回の調査の実施に当たり、ご協力いただきました事業所各位に対しまして厚く御礼申し上げますと共に、今後ともこのような調査実施の際には、ご協力の程併せてお願い申し上げます。

平成 30 年 3 月

目 次

第Ⅰ章 調査計画の概要

1. 調査目的	1
2. 調査内容	1
3. 調査対象	3
4. 調査方法	3
5. 調査時期	3
6. 回収数・回収率	3

第Ⅱ章 調査結果＜製造業者＞

I. 事業所の概要	5
1. 企業資本金	5
2. 事業所従業員	5
II. 平成 28 年度における「電気ホイスト」の取扱い機種・台数	6
1. 平成 28 年度の取扱い台数	6
2. 平成 28 年度取扱い台数の容量別内訳	6
3. 今後の取扱い台数の見通し	7
III. 「電気ホイスト」の納入先について	8
1. 納入先の購入内容	8
2. 最近の電気ホイストの需要について	9
IV. 速度制御にみた現在、および今後の取扱い台数	10
V. 納入先のメンテナンスについて	11
1. 現在までの納入先数	11
2. 納入先で行っているメンテナンス形態	11
VI. 電気チェーンブロックの取扱い台数	12
1. 電気チェーンブロックの取扱い台数	12
2. 電気チェーンブロックの取扱い(出荷)台数の内訳	12
3. 電気チェーンブロックの取扱い実績と今後の見通し	12
VII. 電気ホイストに対する評価・選定条件	14
1. 使用している電気ホイストの満足度	14
2. 電気ホイストの選定する条件	15
VIII. 海外メーカーの電気ホイストの取扱い(出荷)について	16
IX. 電気ホイストの安全装置について	17
X. 「巻上機の特別アセスメント」について	19
XI. 一般社団法人 日本電機工業会(JEMA)のウェブサイトについて	20

第Ⅲ章 調査結果<ユーザ>

I. 事業所の概要.....	21
1. 企業資本金.....	21
2. 事業所従業員.....	21
II. 主な業種.....	22
III. 平成 28 年度における「電気ホイス」の設置台数.....	22
1. 平成 28 年度の設置台数.....	22
2. 今後の設置台数の見通し.....	23
3. 現在の実稼働台数.....	24
4. 電気ホイス 1 日あたりの平均稼働時間.....	24
IV. 今後の更新購入計画について.....	25
1. 電気ホイスの更新期間.....	25
2. 新設・更新別にみた購入内容.....	25
V. メンテナンスの形態と点検契約内容について.....	26
VI. 電気チェーンブロックの設置台数.....	27
VII. 電気ホイスに対する評価・選定条件.....	28
1. 使用している電気ホイスの満足度.....	28
2. 電気ホイスを選定する条件.....	29
VIII. 海外メーカーの電気ホイスの使用について.....	30
IX. 電気ホイスの安全装置について.....	31
X. クレーン等級について.....	33
XI. 「巻上機の特別アセスメント」について.....	34
XII. 一般社団法人 日本電機工業会 (JEMA) のウェブサイトについて.....	35

付. 調査票

第 I 章. 調査計画の概要

1. 調査目的

本調査は、「電気ホイス」の取扱いがある（もしくは使用がある）企業の動向を把握することによって、現状における電気ホイス部門の実態と今後の需要構造を明らかにし、関連企業の動向把握に資することを目的として実施した。

なお、本調査は調査対象を『製造業者』と『ユーザ』に分けて実施し、報告書の取り纏めは『製造業者』・『ユーザ』別に行うこととした。

2. 調査内容

この調査で把握する内容を、『製造業者』・『ユーザ』別に列記するとそれぞれ以下の通りである。

＜製造業者＞

- I. 事業所の概要
- II. 平成28年度における「電気ホイス」の取扱い状況
 1. 取扱い台数
 2. 取扱い台数の容量別内訳
 3. 今後の取扱い台数の見通し
- III. 事業所の納入先
 1. 納入先の購入内容
 - (1) 新設購入・更新購入別内訳
 - (2) 更新購入の具体的内容
 - (3) 電気ホイスの使用年数
 2. 最近の電気ホイスの需要について
 - (1) 増加傾向と思われる業種
 - (2) 減少傾向と思われる業種
- IV. 速度制御に関する現在、および今後の取扱い数の内訳
- V. 納入先のメンテナンスについて
 1. 現在までの納入社数
 2. 納入先におけるメンテナンスの形態
 3. 納入先と結んでいるメンテナンス点検契約の内容別割合
- VI. 電気チェーンブロックの取扱い台数
 1. 電気チェーンブロックの取扱い台数
 2. 電気チェーンブロックの取扱い（出荷）台数の内訳
 3. 電気チェーンブロックの取扱い実績と今後の見通し
- VII. 電気ホイスに対する評価・選定条件
 1. 評価項目別にみた電気ホイスの満足度
 2. 電気ホイスの選定条件
- VIII. 海外メーカーの電気ホイスの取扱い（出荷）について
 1. 海外メーカーの電気ホイスの取扱い（出荷）の有無
 2. 海外メーカーの電気ホイスの取扱い台数
 3. 海外メーカーの電気ホイスの取扱い台数 容量別
- IX. 電気ホイスの安全装置について
 1. 安全装置の認知状況
 2. 安全装置の必要度
- X. 「巻上機の特別アセスメント」について
 1. 「巻上機の特別アセスメント」の認知状況
 2. 「巻上機の特別アセスメント」の認知経路
- XI. JEMAのウェブサイトについて
 1. JEMAのウェブサイトの認知状況
 2. JEMAのウェブサイトの閲覧状況

※調査票については『付. 調査票＜付1：製造業者＞』を参照されたい。

<ユーザ>

- I. 事業所の概要
- II. 会社の主な業種
- III. 平成28年度における「電気ホイスト」の設置台数
 - 1. 設置台数
 - 2. 今後の設置台数の見通し
 - 3. 実際の稼働台数
 - 4. 電気ホイスト1台1日あたりの平均稼働時間
- IV. 今後の更新・購入計画について
 - 1. 電気ホイストの更新期間
 - 2. 電気ホイストの購入内容について
 - (1) 新設購入・更新購入別内訳
 - (2) 更新購入の具体的内容
- V. 事業所でのメンテナンスについて
 - 1. メンテナンスの形態
 - 2. メンテナンスの点検契約の内容別割合
- VI. 電気チェンブロックの設置台数
- VII. 電気ホイストに対する評価・選定条件
 - 1. 評価項目別にみた電気ホイストの満足度
 - 2. 電気ホイストの選定条件
- VIII. 海外メーカーの電気ホイストの使用について
 - 1. 海外メーカーの電気ホイストの使用の有無
 - 2. 海外メーカーの電気ホイストの使用台数
 - 3. 海外メーカーの電気ホイストの使用台数 容量別
- IX. 電気ホイストの安全装置について
 - 1. 安全装置の認知状況
 - 2. 安全装置の必要度
- X. クレーン等級について
 - 1. 寿命（使用限度）の規定の認知状況
 - 2. 購入時の等級の考慮状況
- XI. 「巻上機の特別アセスメント」について
 - 1. 「巻上機の特別アセスメント」の認知状況
 - 2. 「巻上機の特別アセスメント」の認知経路
 - 3. 「巻上機の特別アセスメント」の必要度
 - 4. 詳細説明に対する要望度
- XII. JEMAのウェブサイトについて
 - 1. JEMAのウェブサイトの認知状況
 - 2. JEMAのウェブサイトの閲覧状況

※調査票については『付. 調査票<付2：ユーザ>』を参照されたい。

3. 調査対象

<製造業者>

- ・「電気ホイスト」を取扱っている事業所（事業所単位）。
- ・調査対象としては、電気ホイスト業務専門委員会が作成した名簿から〔399事業所〕を抽出した。

<ユーザ>

- ・「電気ホイスト」を使用している事業所（事業所単位）。
- ・調査対象としては、電気ホイスト業務専門委員会が作成した名簿から〔299事業所〕を抽出した。

4. 調査方法

「郵送法」による調査票の配布および回収。

5. 調査時期

調査実施期間：平成29年11月～平成29年12月）

調査対象期間：平成28年度（平成28年4月～平成29年3月）

6. 回収数・回収率

<製造業者>

配布した事業所数	：	399
回収した事業所数	：	90
回収率	：	22.6%
無効票	：	25（※電気ホイスト取扱いなし、回答なし等）
有効回答事業所	：	65

<ユーザ>

配布した事業所数	：	299
回収した事業所数	：	78
回収率	：	26.1%
無効票	：	4（※電気ホイスト取扱いなし、回答なし等）
有効回答事業所	：	74

第Ⅱ章. 調 査 結 果

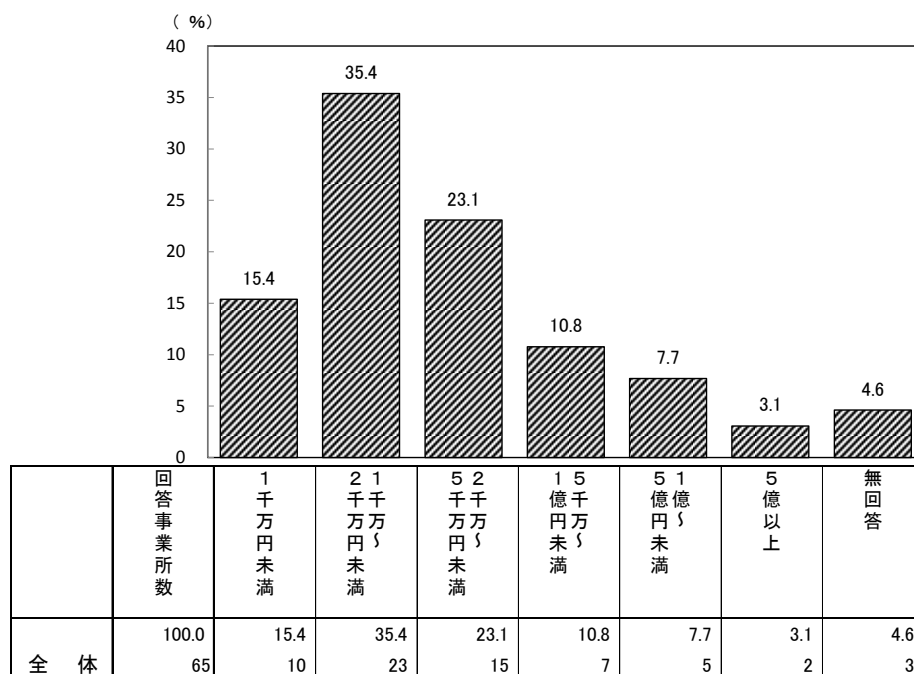
＜製造業者＞

I. 事業所の概要

有効回答事業所の企業資本金、及び事業所従業員数の分布は以下の通りである。

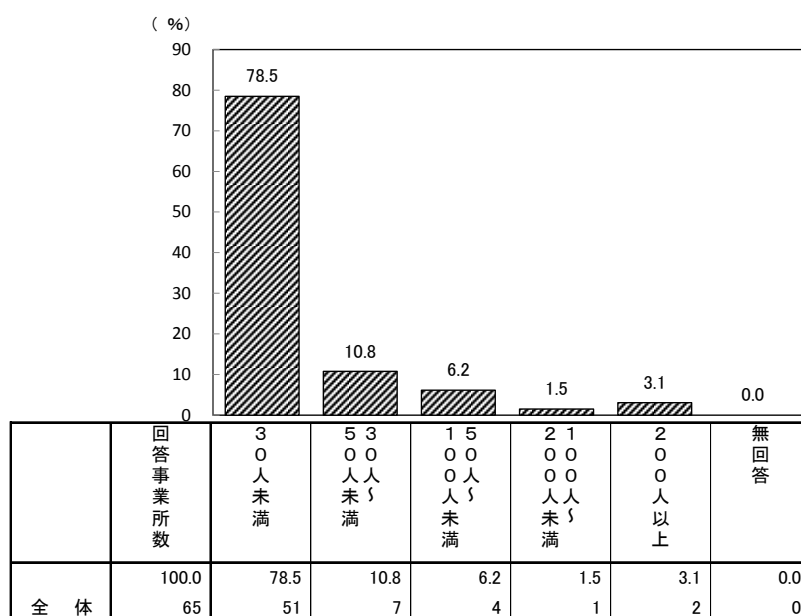
1. 企業資本金

図表1 資本金の分布



2. 事業所従業員数

図表2 従業員の分布



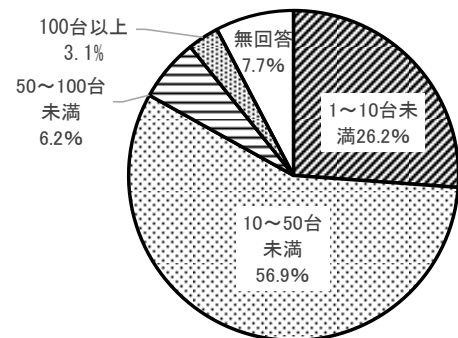
Ⅱ. 平成28年度における「電気ホイス」の取扱い機種・台数

1. 平成28年度の取扱い台数

平成28年度における「電気ホイス」の取扱い台数は、全体で1,387台であり、1事業所あたりの平均台数は23.1台であった。

図表3 平成28年度における「電気ホイス」の取扱い台数

	回答事業所数	1～10台未満	10～50台未満	50～100台未満	100台以上	無回答	平均台数	取扱い（出荷）台数
全 体	65	17	37	4	2	5	23.1	1,387

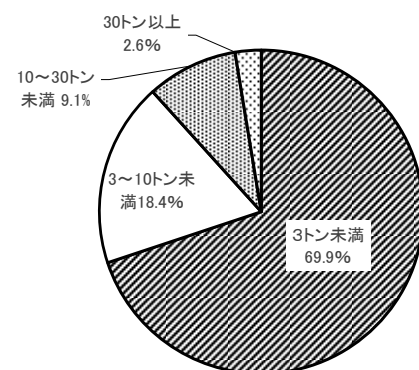


2. 平成28年度取扱い台数の容量別内訳

平成28年度の取扱い台数を容量別にみると、「3トン未満」が69.9%を占めて圧倒的に多く、これに「3トン以上10トン未満」を加えると9割弱となる。

図表4 平成28年度取扱い台数の容量別内訳

	回答事業所数	28年度取扱い台数実績	3トン未満	3～10トン未満	10～30トン未満	30トン以上
全 体	59	1,383	967	254	125	36



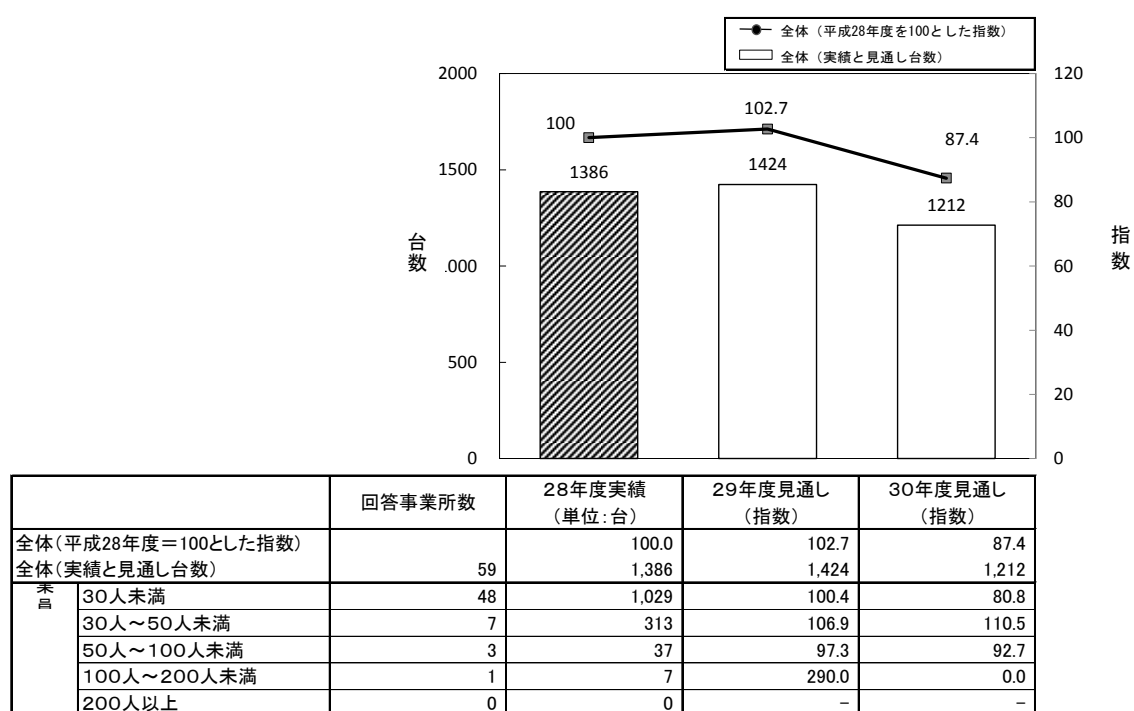
※容量別台数は、「容量別内訳を回答した事業所の平成28年度取扱い実績（台数）」に、容量別内訳比率を乗ずることにより算出した。

3. 今後の取扱い台数の見通し

平成28年度の取扱い実績を100とすると、29年度の見通しは102.7%（約3ポイントの増加）であるが、30年度の見通しは低下に転じて87.4%（約13ポイントの減少）であった。

従業員数別にみると、「30～50人未満」の階層では、29年度、30年度の両年とも増加の見通しを示した。「30人未満」「50～100人未満」「100人～200人未満」の3階層では、29年度は増加の見通し、30年度は減少見通しであった。

図表5 平成28年度の取扱い台数(実績)と今後の見通し



※見通し台数は、「今後の見通しを回答した事業所の平成28年度取扱い実績（台数）」に、見通し指数を乗ずることにより算出した。

Ⅲ. 「電気ホイス」の納入先について

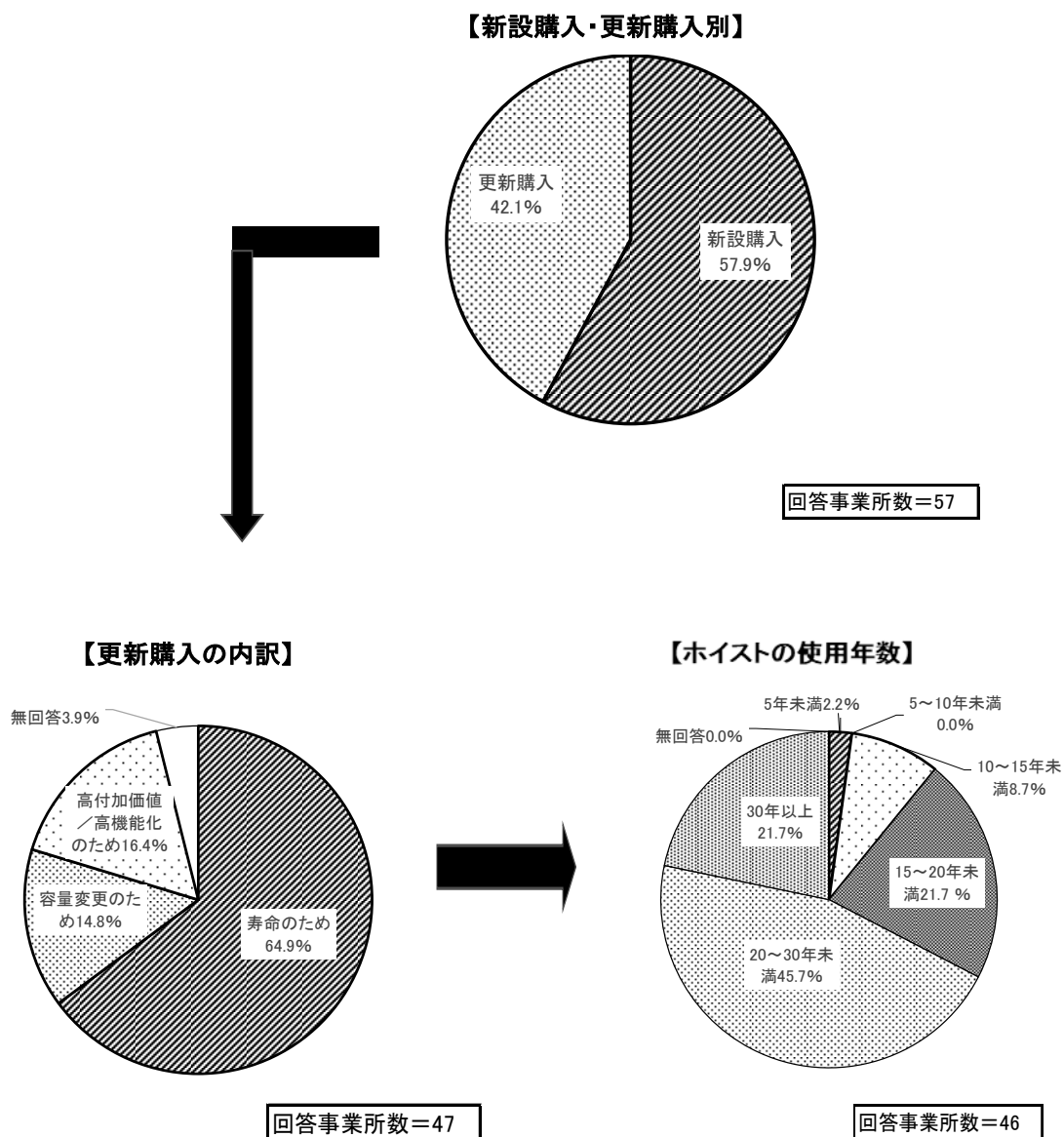
1. 納入先の購入内容

納入先の購入内容について、新設購入・更新購入別内訳をみると、「新設購入」（57.9%）が約6割、「更新購入」（42.1%）が約4割であった。

さらに更新購入について、更新の理由別内訳をみると、「寿命のため」が64.9%を占めて最も多く、次いで「高付加価値・高機能化のため」（16.4%）、「容量変更のため」（14.8%）という順であった。

また、更新理由を「寿命のため」と回答した事業所に対して、電気ホイスの使用年数を尋ねたところ、「20～30年未満」（45.7%）が特に多く、「15～20年未満」と「30年以上」がともに21.7%で続いている。

図表6 納入先の購入内容



2. 最近の電気ホイストの需要について

需要が『増加傾向と思われる業種』としては、「機械」(61.5%) が最も多くあげられ、これに「鉄鋼」(47.7%)、「自動車」(27.7%) が続いている。

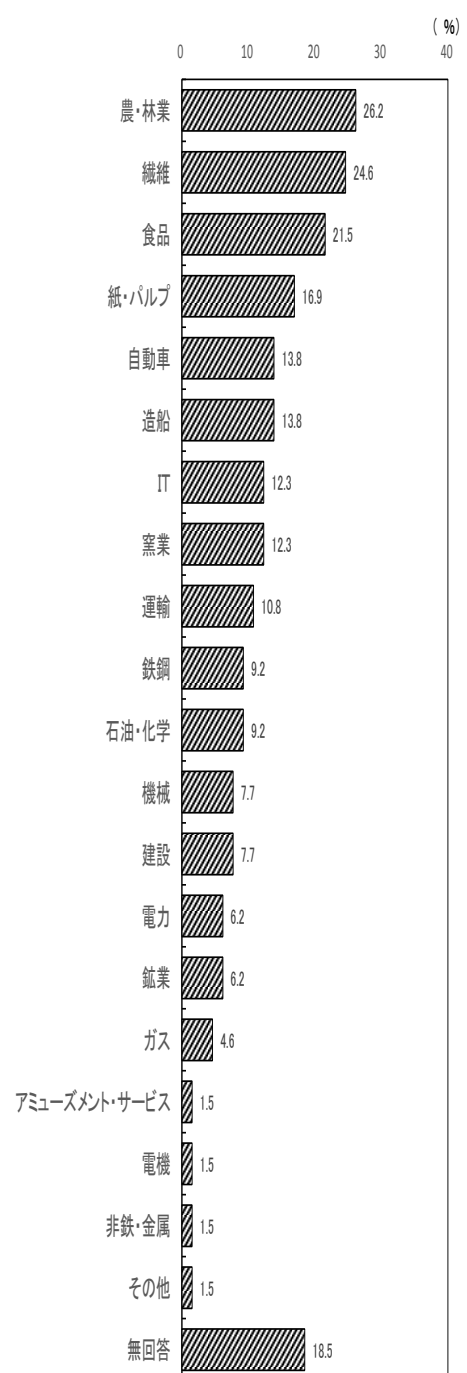
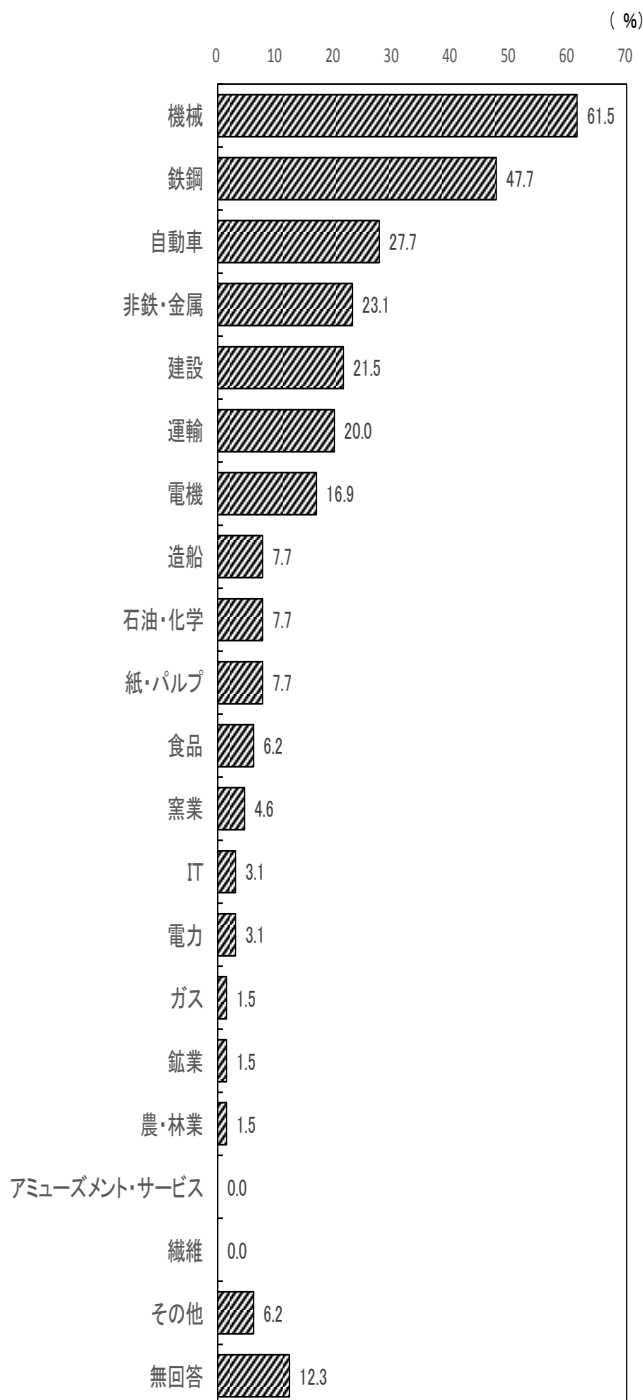
また、『減少傾向と思われる業種』としては、「農・林業」(26.2%) をあげるところが最も多く、次いで「繊維」(24.6%)、「食品」(21.5%) をあげるところが多くみられた。

図表7 最近の電気ホイストの需要について

回答事業所数=65

【増加傾向と思われる業種】

【減少傾向と思われる業種】



Ⅳ. 速度制御別にみた現在、および今後の取扱い台数

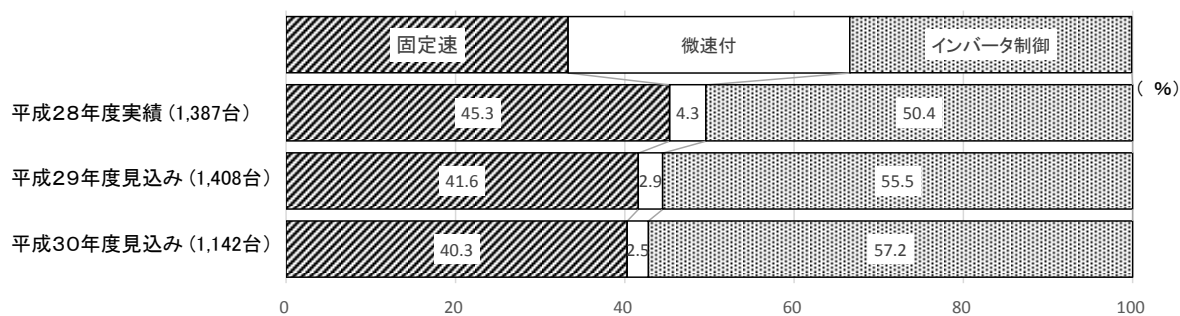
現在、および今後の速度制御別取扱い台数について、平成28年度（実績）、29年度（見込み）、30年度（見込み）の取扱い総台数をそれぞれ100とした場合の内訳で調べた。

平成28年度実績でみると「固定速」45.3%、「微速付」4.3%、「インバータ制御」50.4%という構成であったが、29年度見込みでは「固定速」41.6%、「微速付」2.9%、「インバータ制御」55.5%となっており、「固定速」と「微速付」のシェアが低下し、「インバータ制御」のシェアが上昇する見通しである。

このことは、平成29年度から30年度にかけての見込みについても同様で、「固定速」と「微速付」のシェアが低下し、「インバータ制御」のシェアが上昇するものとなっている。

図表8 速度制御についての現在、および今後の取扱い台数

	回答事業所数	取扱い台数実績 【実績、見込み】	固定速	微速付	インバータ制御
平成28年度実績	60	100.0 1,387	45.3 628	4.3 60	50.4 699
平成29年度見込み	57	100.0 1,408	41.6 586	2.9 41	55.5 781
平成30年度見込み	51	100.0 1,142	40.3 460	2.5 28	57.2 653



※速度制御タイプ別台数（実績、見込み）は、「速度制御タイプ別内訳を回答した事業所の平成28年度取扱い実績（台数）」に、内訳比率を乗ずることにより算出した。

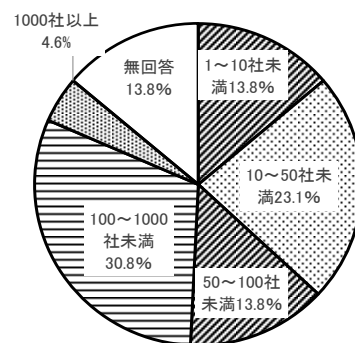
V. 納入先のメンテナンスについて

1. 現在までの納入先数

現在までの納入先数については、「100社未満」の事業所が50.7%を占める、「100社以上」の事業所は35.4%となっている。その平均社数は189.6社であった。

図表9 現在までの納入先数

	回答事業所数	1～10社未満	10～50社未満	50～100社未満	100～1000社未満	1000社以上	無回答	平均社数	納入先（社数）
全 体	65	9	15	9	20	3	9	189.6	10,617



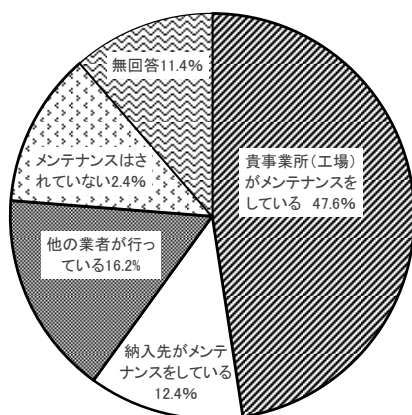
2. 納入先で行っているメンテナンス形態

納入先のメンテナンス形態について、『現在までの納入先数』を100とした内訳でみると、「貴事業所（工場）がメンテナンスをしている」が47.6%で最も多く、以下「他の業者が行っている」（16.2%）、「納入先がメンテナンスをしている」（12.4%）、「メンテナンスはされていない」（12.4%）と続いている。

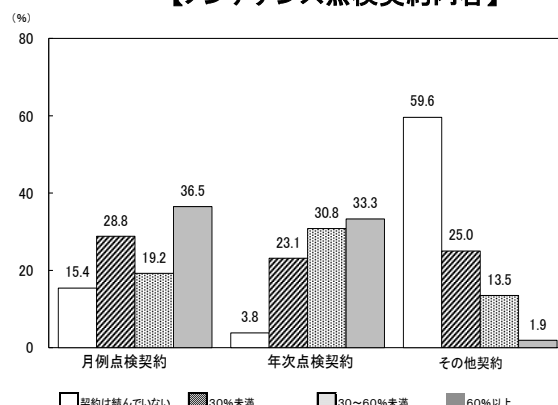
また、「貴事業所（工場）がメンテナンスをしている」と回答した事業所の、『納入先と結んでいる点検契約内容』の割合をみると、「60%以上」とする事業所が、『月例点検契約』では36.5%、『年次点検契約』では33.3%と、それぞれ最も多い。一方、「契約は結んでいない」は『月例点検契約』が15.4%、『年次点検契約』は3.8%と少なくなっている。

図表10 メンテナンス形態と点検契約内容

【メンテナンス形態】



【メンテナンス点検契約内容】



	該当事業所数	契約は結んでいない	30%未満	30～60%未満	60%以上
月例点検契約	100.0	15.4	28.8	19.2	36.5
	52	8	15	10	19
年次点検契約	100.0	3.8	23.1	30.8	33.3
	52	2	12	16	22
その他契約	100.0	59.6	25.0	13.5	1.9
	52	31	13	7	1

※メンテナンス形態別割合は、「メンテナンスの形態を回答した事業所の納入先社数」に、そのメンテナンス形態別割合を乗じてメンテナンス形態別台数を算出し、これをベースとして集計した。

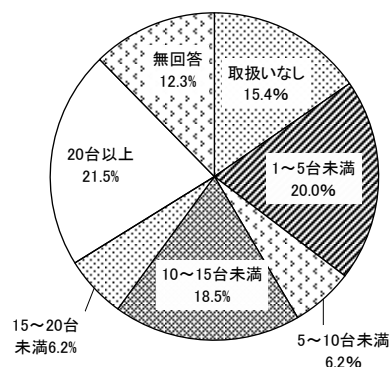
VI. 電気チェーンブロックの取扱い台数

1. 電気チェーンブロックの取扱い台数

電気チェーンブロックの取扱いに関しては、「20台以上」が21.5%で最も多く、これに「1～5台未満」が20.0%で次ぐ。1社あたりの平均台数は11.9台であった。

図表11 電気チェーンブロックの取扱い台数

	回答事業所数	取扱いなし	1～5台未満	5～10台未満	10～15台未満	15～20台未満	20台以上	無回答	平均台数	取扱い（出荷）台数
全 体	100.0 65	15.4 10	20.0 13	6.2 4	18.5 12	6.2 4	21.5 14	12.3 8	11.9	679

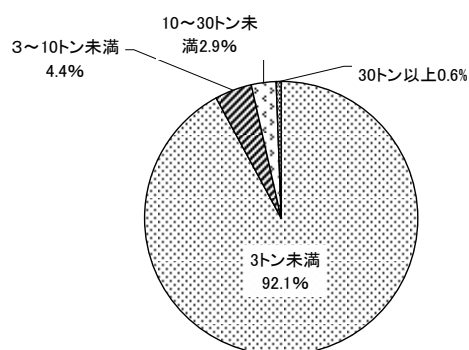


2. 電気チェーンブロックの取扱い（出荷）台数の内訳

平成28年度の取扱い台数を容量別にみると、「3トン未満」が92.1%を占めている。

図表11-1 電気チェーンブロックの取扱い台数
(容量別)

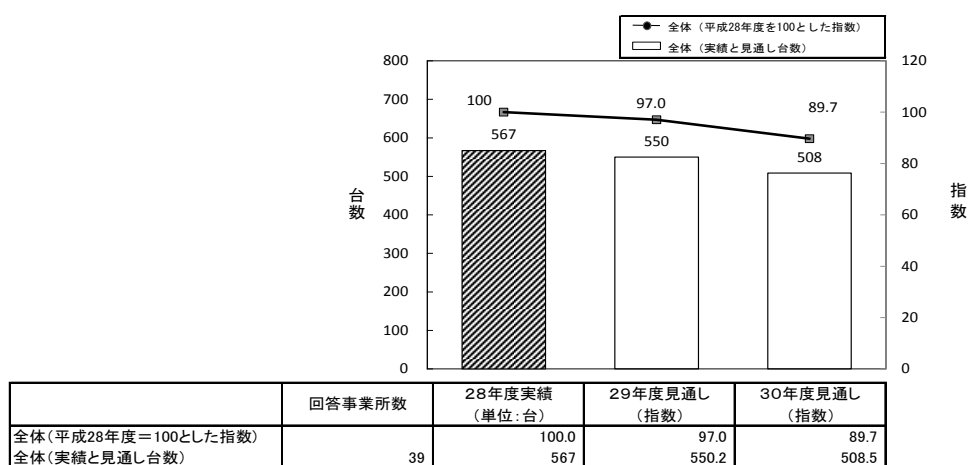
	回答事業所数	平成28年度取扱い台数実	3トン未満	3～10トン未満	10～30トン未満	30トン以上
全 体	46	677	624	30	20	4



3. 電気チェーンブロックの取扱い実績と今後の見通し

平成28年度の取扱い実績を100とすると、29年度の見通しは97.0% (3ポイントの減少) で、30年度の見通しは89.7% (約10ポイントの減少) となっている。

図表11-2 電気チェーンブロックの取扱い実績と今後の見通し



※電気チェーンブロック見通し台数は、「今後の見通しを回答した事業所の平成28年度取扱い実績（台数）」に、見通し指数を乗ずることにより算出した。

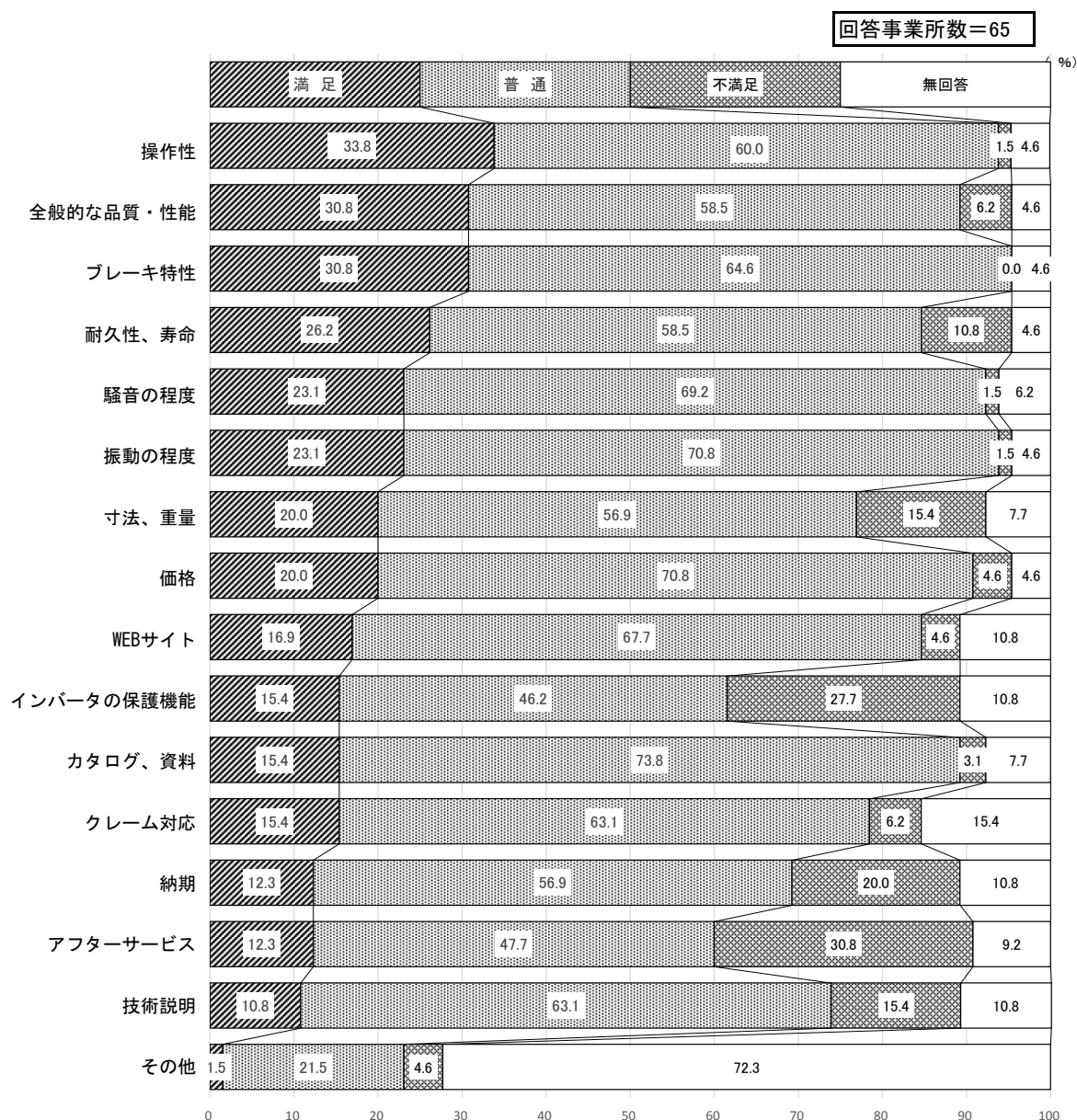
VII. 電気ホイスに対する評価・選定条件

1. 使用している電気ホイスの満足度

各評価項目別に満足度をみると、満足度の最も高いものは「操作性」(33.8%)となっており、以下「全般的な品質・性能」(30.8%)、「ブレーキ特性」(30.8%)の順が続いている。

逆に不満足度が高い項目としては、「アフターサービス」(30.8%)、「インバータの保護機能」(27.7%)、「納期」(20.0%)などがある。

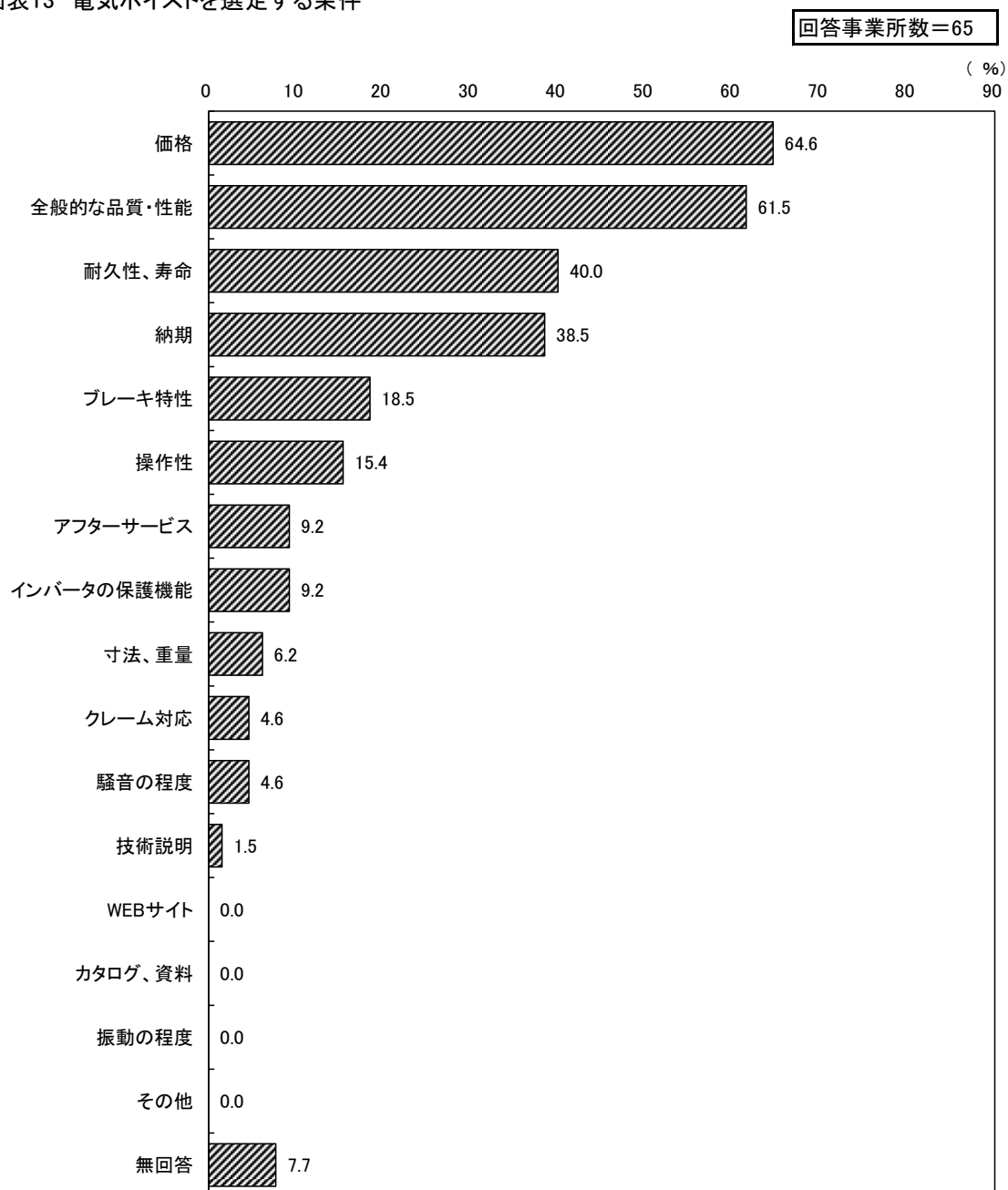
図表12 電気ホイスに対する評価



2. 電気ホイストを選定する条件

電気ホイストの選定条件としては、「価格」をあげる事業所が64.6%と最も多く、次いで「全般的な品質・性能」(61.5%)をあげる事業所が多くみられた。その他、「耐久性、寿命」(40.0%)、「納期」(38.5%)なども上位にあげられている。

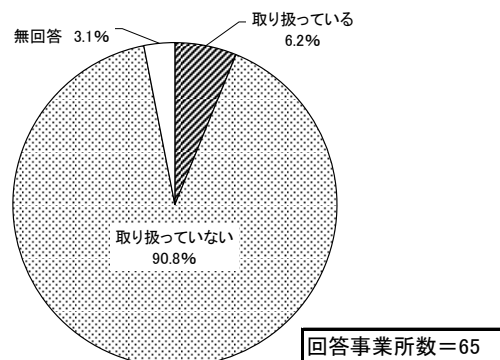
図表13 電気ホイストを選定する条件



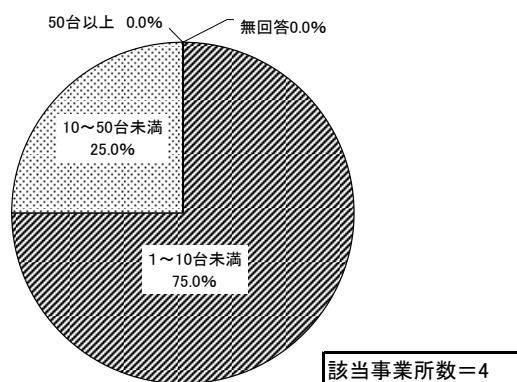
Ⅷ. 海外メーカーの電気ホイスの取扱い（出荷）について

海外メーカーの電気ホイスの取扱い（出荷）の有無を尋ねたところ、「取り扱っていない」事業所が90.8%と大半を占め、「取り扱っている」は6.2%であった。

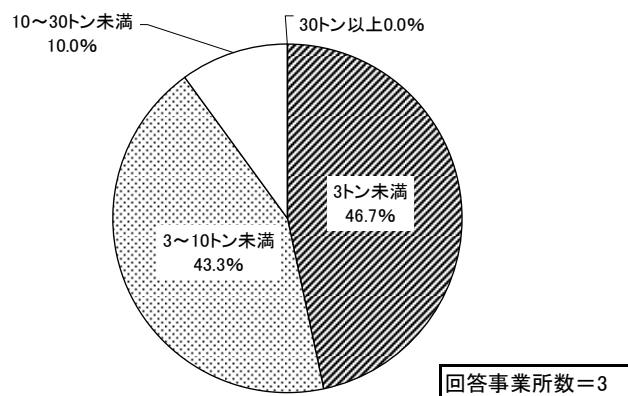
図表14-1 海外メーカーの電気ホイス取扱い(出荷)の有無



図表14-2 海外メーカーの電気ホイス取扱い台数



図表14-3 海外メーカーの電気ホイス取扱い台数 容量別



Ⅸ. 電気ホイストの安全装置について

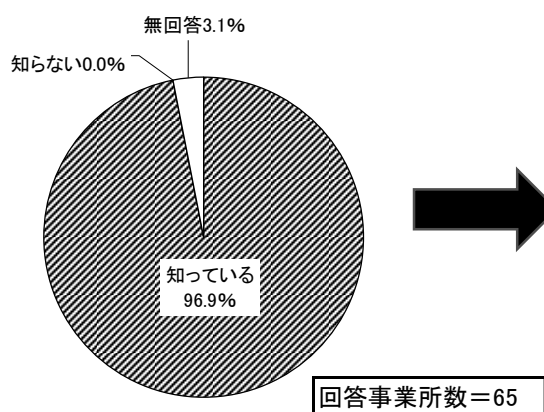
電気ホイストの安全装置について、認知度と必要度を調べると以下のような結果となった。

- ①『過荷重防止』を「知っている」という事業所は96.9%、このうち63.5%が「ぜひ必要」、34.9%が「さほど必要としていない」と回答した。
- ②『モータ焼損保護』を「知っている」という事業所は90.8%、このうち57.6%が「ぜひ必要」、40.7%が「さほど必要としていない」と回答した。
- ③『ロープガイド』を「知っている」という事業所は80.0%、このうち32.7%が「ぜひ必要」、65.4%が「さほど必要としていない」と回答した。
- ④『下限リミットスイッチ』を「知っている」という事業所は96.9%、このうち34.9%が「ぜひ必要」、63.5%が「さほど必要としていない」と回答した。

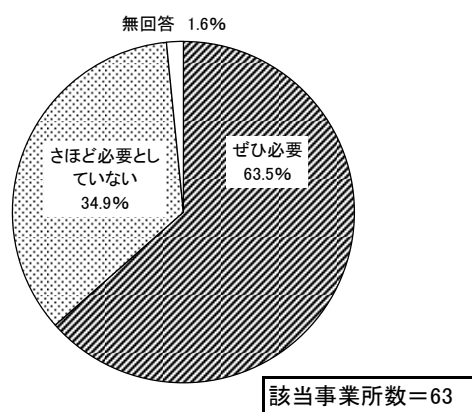
以上から、『過荷重防止』と『モータ焼損保護』については、認知事業所の約6割が「ぜひ必要」としており、標準装備の必要度は高くなっている。これに対し、『ロープガイド』と『下限リミットスイッチ』については、「ぜひ必要」とする事業所は認知事業所の約3割で、標準装備の必要度は高くはない。

図表15 安全装置の認知度・必要性

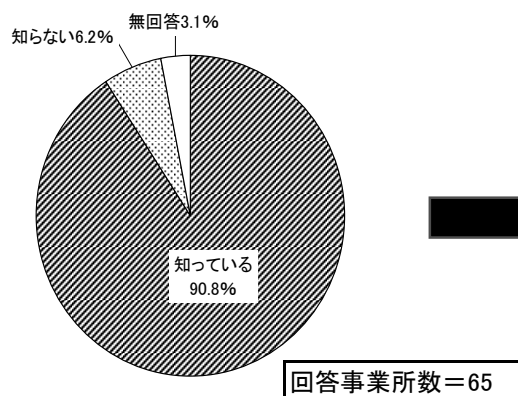
【過荷重防止の認知度】



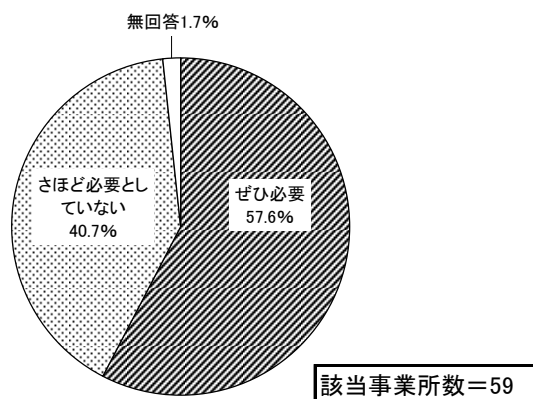
【過荷重防止の必要性】



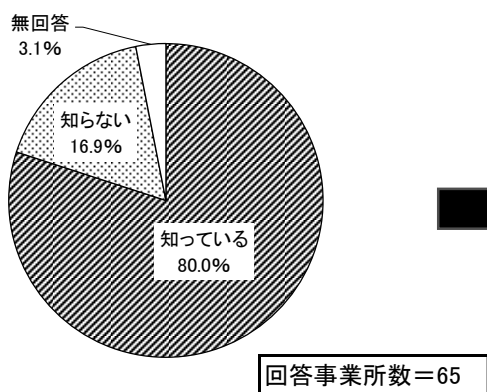
【モータ焼損保護の認知度】



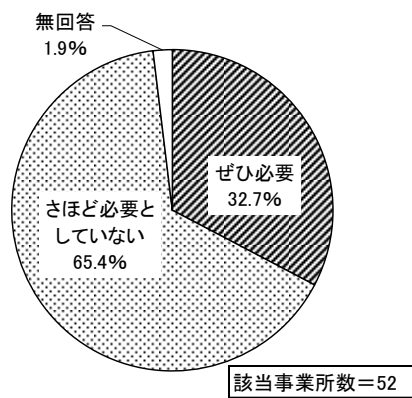
【モータ焼損保護の必要性】



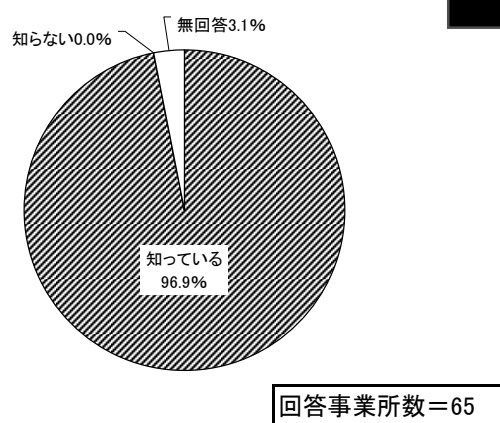
【ロープガイドの認知度】



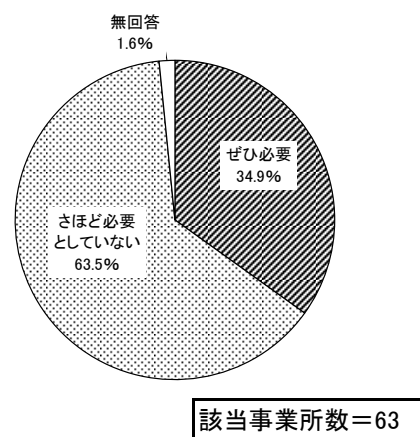
【ロープガイドの必要性】



【下限リミットスイッチの認知度】



【下限リミットスイッチの必要性】



X. 「巻上機の特別アセスメント」について

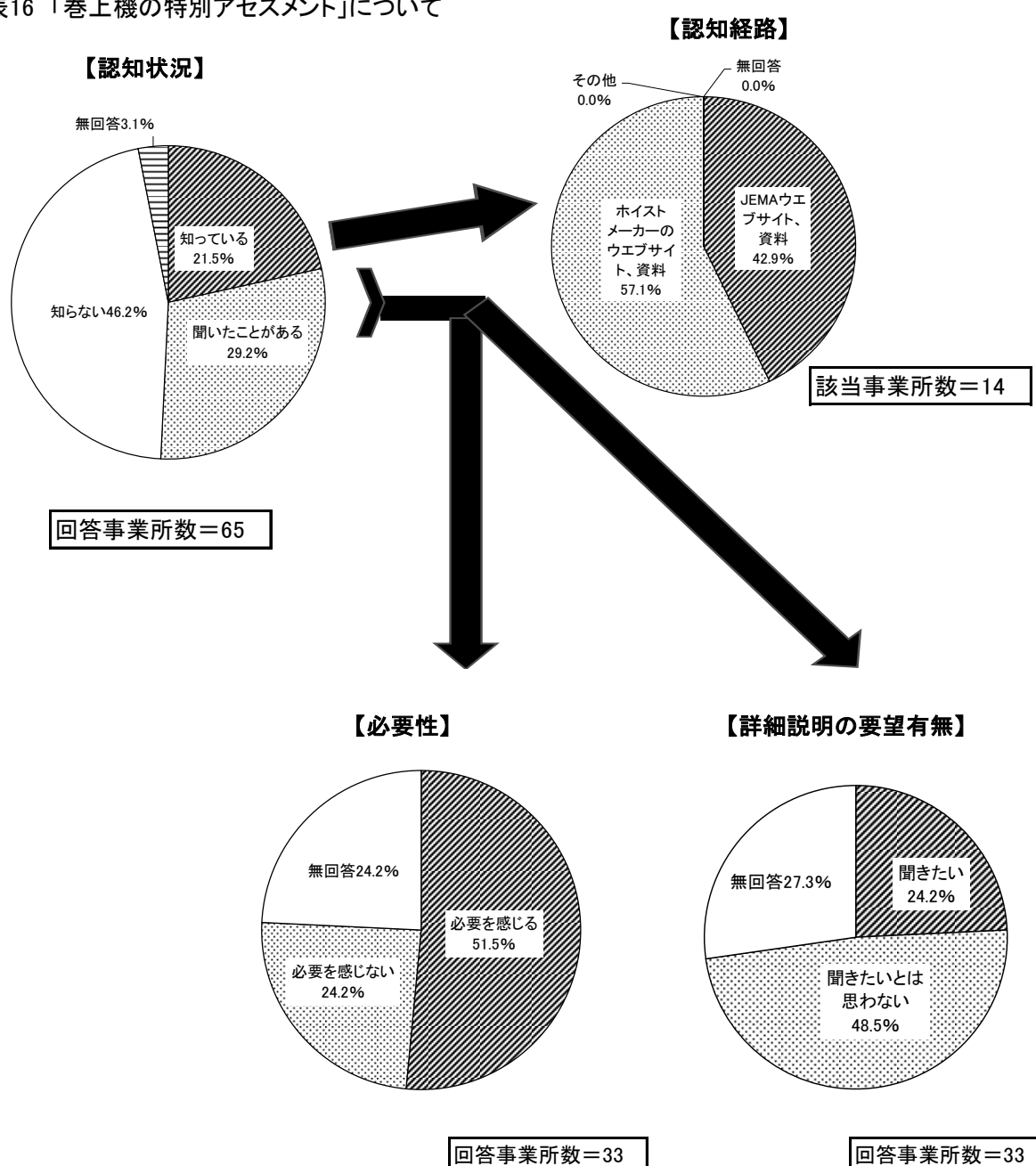
『巻上機の特別アセスメント』を「知っている」という事業所は21.5%、これに「聞いたことがある」(29.2%)を加えると、『巻上機特別アセスメント』の知名度は50.7%となる。

次に、『巻上機の特別アセスメント』を「知っている」という事業所について、その認知経路を調べたところ、「ホイストメーカーのウェブサイト、資料」が57.1%、「JEMAのウェブサイト、資料」が42.9%であった。

また、『巻上機の特別アセスメント』を「知っている」または「聞いたことがある」事業所に対して、その必要性を尋ねたところ、「必要を感じる」は51.5%であった。

更に、これらの事業所を対象として、詳細説明への要望度を調べると、「聞きたい」は24.2%、「聞きたいとは思わない」は48.5%であった。

図表16 「巻上機の特別アセスメント」について



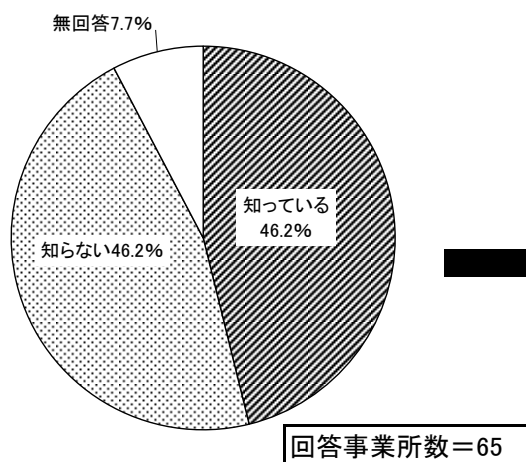
X I . 一般社団法人 日本電機工業会（J E M A）のウェブサイトについて

J E M Aのウェブサイトを「知っている」という事業所は、46.2%と半数近くに達した。

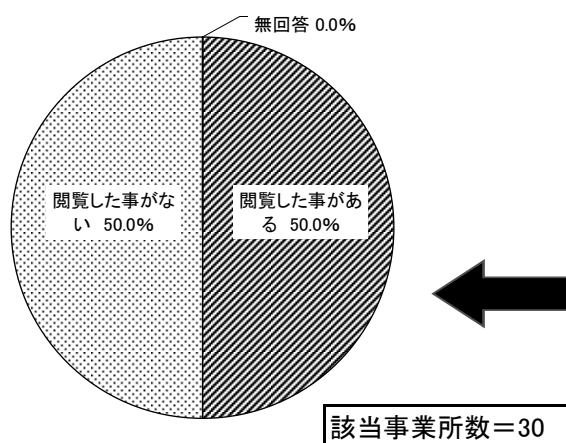
また、J E M Aのウェブサイトを「知っている」事業所のうち、電気ホイストのページを「閲覧したことがしたことがある」のは50.0%であり、調査対象事業所全体の約2割に止まった。

図表17 JEMAのウェブサイトについて

【ウェブサイトの認知状況】



【電気ホイストのページ閲覧状況】



第Ⅲ章. 調 査 結 果

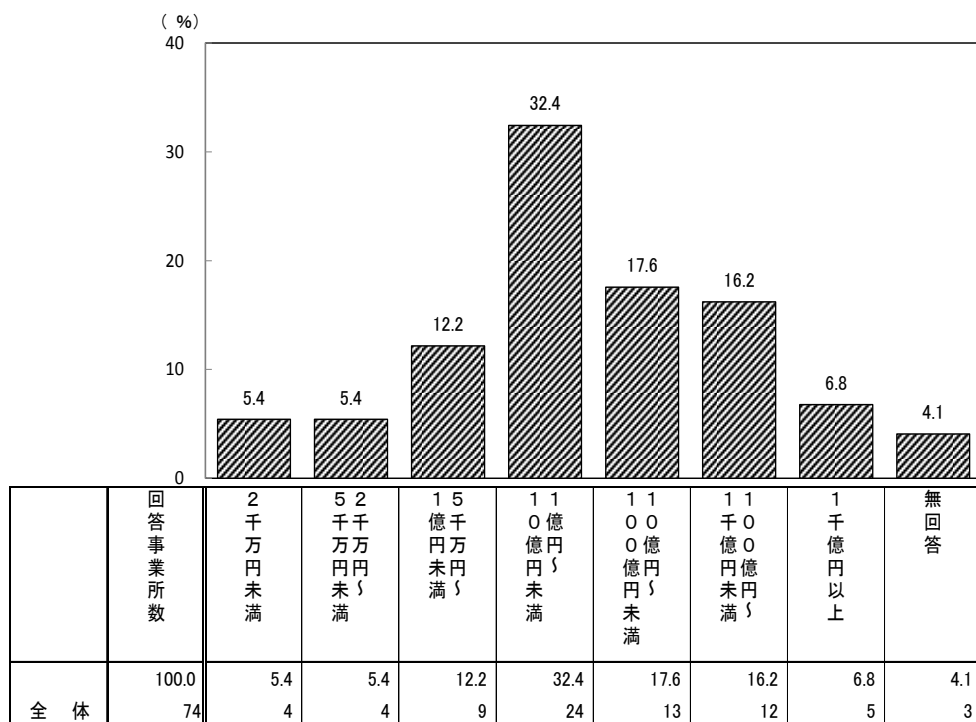
<ユーザ>

I. 事業所の概要

有効回答事業所の企業資本金、及び事業所従業員数の分布は以下の通りである。

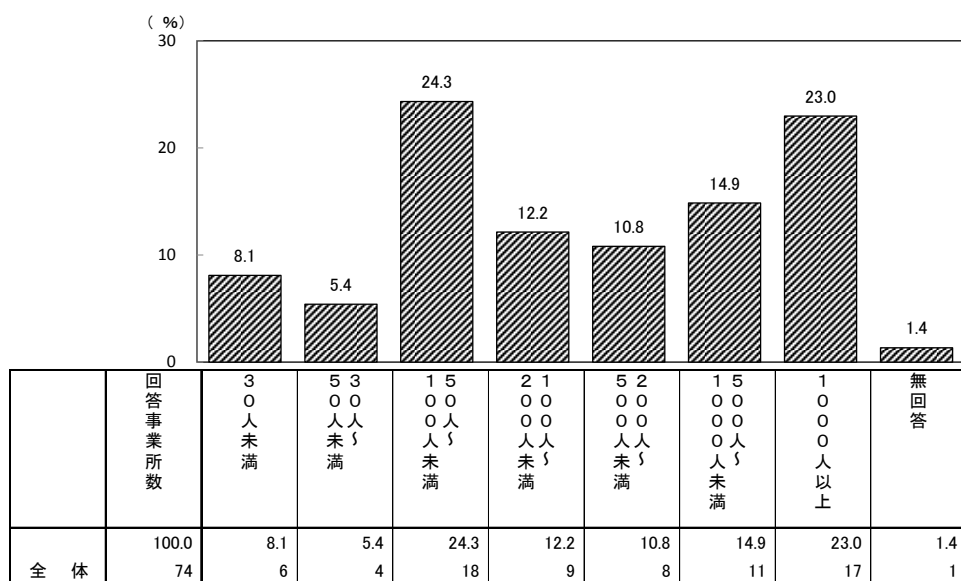
1. 企業資本金

図表1 資本金の分布



2. 事業所従業員数

図表2 従業員の分布

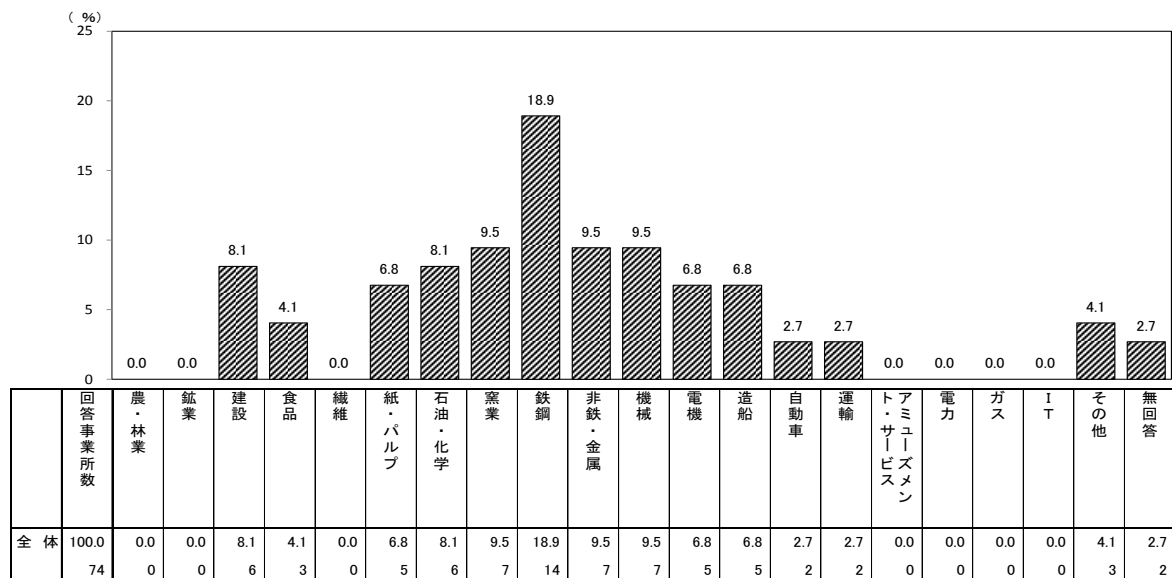


Ⅱ. 主な業種

調査対象事業所の主な業種分布を表示すると以下の通りである。

なお、『Ⅲ. 平成28年度における「電気ホイス」の設置台数』以降で、分析軸として用いる業種については、回答がなかった業種（「農・林業」、「鉱業」、「繊維」、「アミューズメント・サービス」、「電力」、「ガス」、「IT」、及び「無回答」）は割愛した。

図表3 主な業種の分布



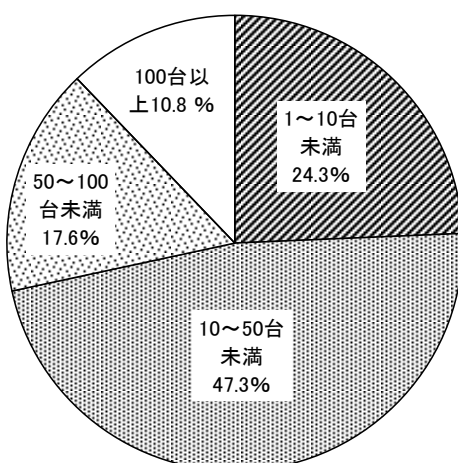
Ⅲ. 平成28年度における「電気ホイス」の設置台数

1. 平成28年度の設置台数

平成28年度における「電気ホイス」の設置台数は、全体で3,566台であり、1事業所あたりの平均台数は48.2台であった。なお、設置台数別事業所数の分布は、「50台未満」が71.6%、「50台以上」が28.4%であった。

業種別には、「機械」の平均台数が110.3台と、他の業種に比べ群を抜いて多くなっている。

図表4 平成28年度における設置台数



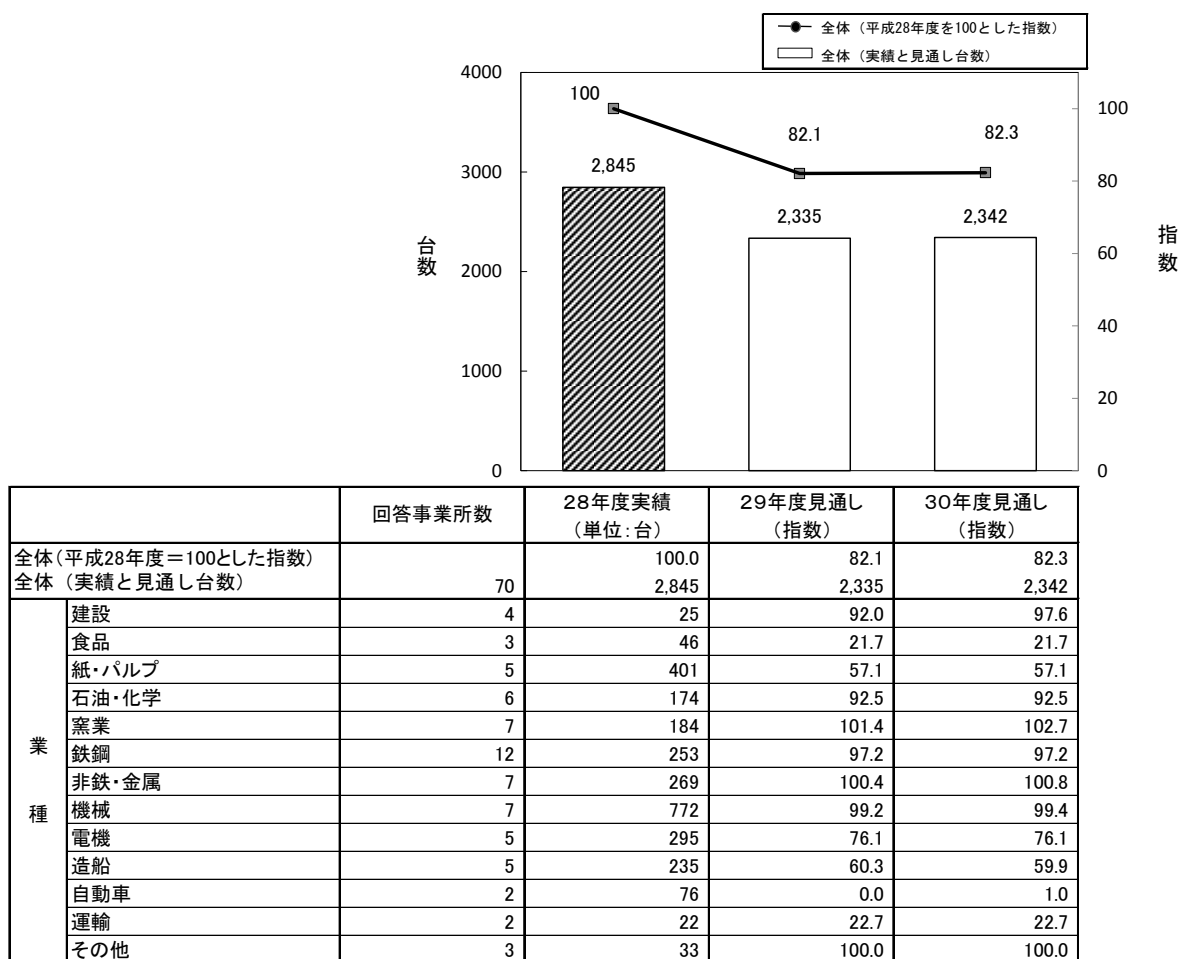
	回答事業所数	1~10台未満	10~50台未満	50~100台未満	100台以上	28年度実績(台数)	平均台数
全体	74	18	35	13	8	3,566	48.2
業種	建設	6	50.0	33.3	16.7	106	17.7
	食品	3	33.3	66.7	0.0	46	15.3
	紙・パルプ	5	0.0	0.0	80.0	401	80.2
	石油・化学	6	16.7	66.7	0.0	174	29.0
	窯業	7	28.6	42.9	28.6	184	26.3
	鉄鋼	14	35.7	50.0	7.1	893	63.8
	非鉄・金属	7	0.0	85.7	0.0	269	38.4
	機械	7	0.0	42.9	14.3	772	110.3
	電機	5	20.0	40.0	20.0	295	59.0
	造船	5	20.0	40.0	40.0	235	47.0
	自動車	2	50.0	0.0	50.0	76	38.0
	運輸	2	50.0	50.0	0.0	22	11.0
	その他	3	66.7	33.3	0.0	33	11.0

2. 今後の設置台数の見通し

平成28年度の設置台数（実績）を100とすると、29年度の見通しは82.1%（17.9ポイントの減少）で、30年度の見通しも同じく82.3%（17.7ポイントの減少）となっている。

業種別にみると、「窯業」が29年度見通しで101.4%、30年度見通しで102.7%と微増の見通しを示した。また、多くの業種が減少の見通しを示した中で、「非鉄・金属」は29年度、30年度ともに微増の見通しであった。

図表5 平成28年度の設置台数と今後の見通し



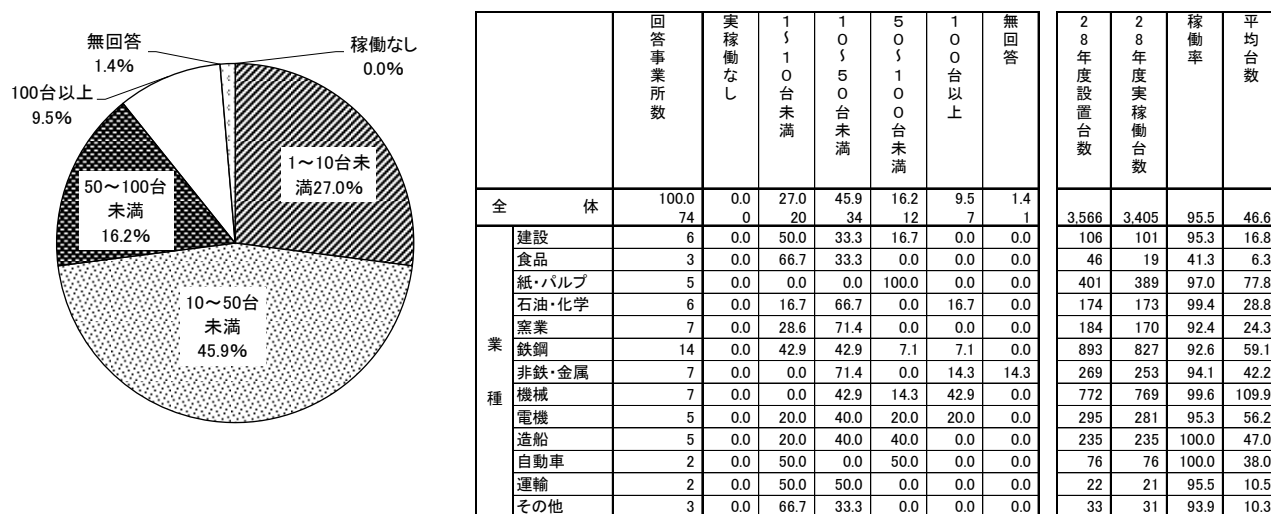
※見通し台数は、「今後の見通しを回答した事業所の平成28年度設置台数（実績）」に、見通し指数を乗ずることにより算出した。

3. 現在の実稼働台数

平成28年度時点で実際に稼働している台数は、全体で3,405台であり、1事業所あたりの平均台数は46.6台であった。なお、稼働台数別事業所数の分布は、「実稼働なし」がゼロ、「1～50台未満」が72.9%、「50台以上」が25.7%であった。また、平成28年度の設置台数を100として、稼働率を算出すると、全体では95.5%と100%を約5ポイント下回った。

回答事業所数が少ない業種（5事業所未満）を除いて、業種別に平均稼働台数をみると、「機械」（109.9台）、「紙・パルプ」（77.8台）で多く、「建設」（16.8台）で少ないのが目立った。また、稼働率に関しては、「造船」と「自動車」でそれぞれ100.0%、その他の業種でもおしなべて90%を上回ったが、「食品」では41.3%と低かった。

図表6 平成28年度の実績稼働台数

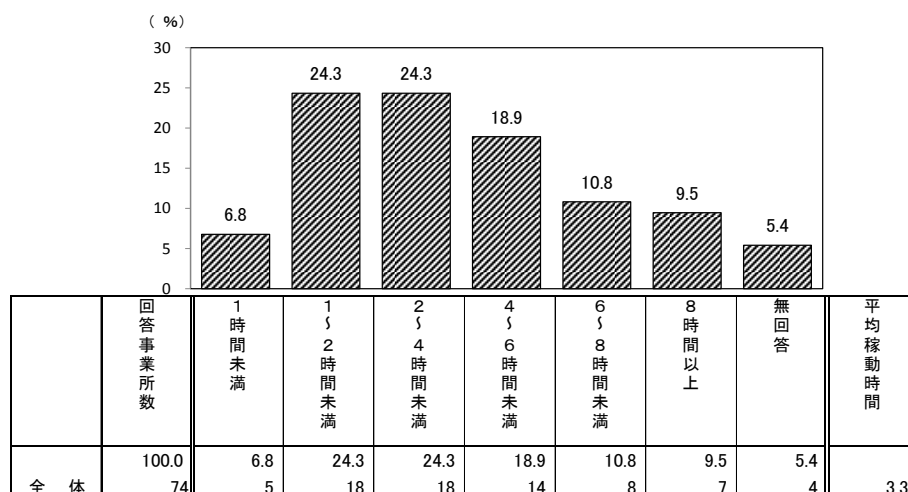


※稼働率は、「実稼働台数を回答した事業所の平成28年度設置台数（実績）」で、実稼働台数を除することにより算出した。

4. 電気ホイス1台1日あたりの平均稼働時間

平成28年度における電気ホイス1台の平均稼働時間は、「1～2時間未満」と「2～4時間未満」がともに24.3%で最も多く、これに「4～6時間未満」が18.9%で次いでいる。平均稼働時間は3.3時間であった。

図表7 平成28年度のホイス1日当たり平均稼働時間

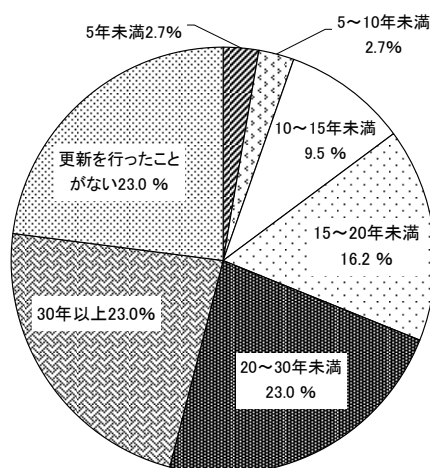


IV. 今後の更新・購入計画について

1. 電気ホイスの更新期間

電気ホイスの更新期間については、「20～30年未満」、「30年以上」がそれぞれ23.0%で、20年以上が46.0%を占めている。一方、更新期間が20年未満の事業所は31.1%であった。また、23.0%の事業所が、「更新を行ったことがない」という回答であった。

図表8 電気ホイスの更新期間

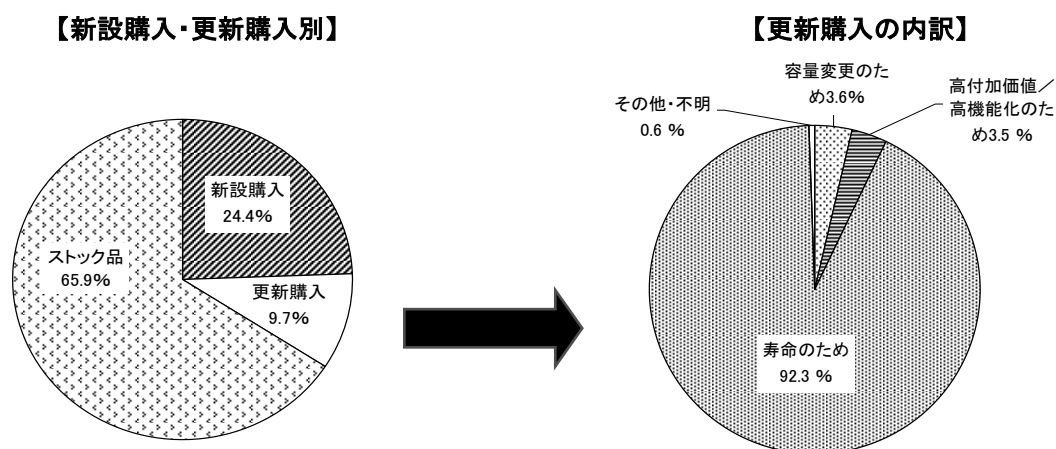


2. 新設・更新別にみた購入内容

平成 28 年度の設置台数をベースとして新設購入・更新購入別の内訳をみると、「新設購入」は24.4%、「更新購入」は9.7%であり、残る65.9%は「ストック品」であった。

また、『更新購入』について更新の理由を調べると、「寿命のため」が92.3%で圧倒的に多く、「容量変更のため」は3.6%、「高付加価値・高機能化のため」は3.5%であった。

図表9 電気ホイスの購入内容



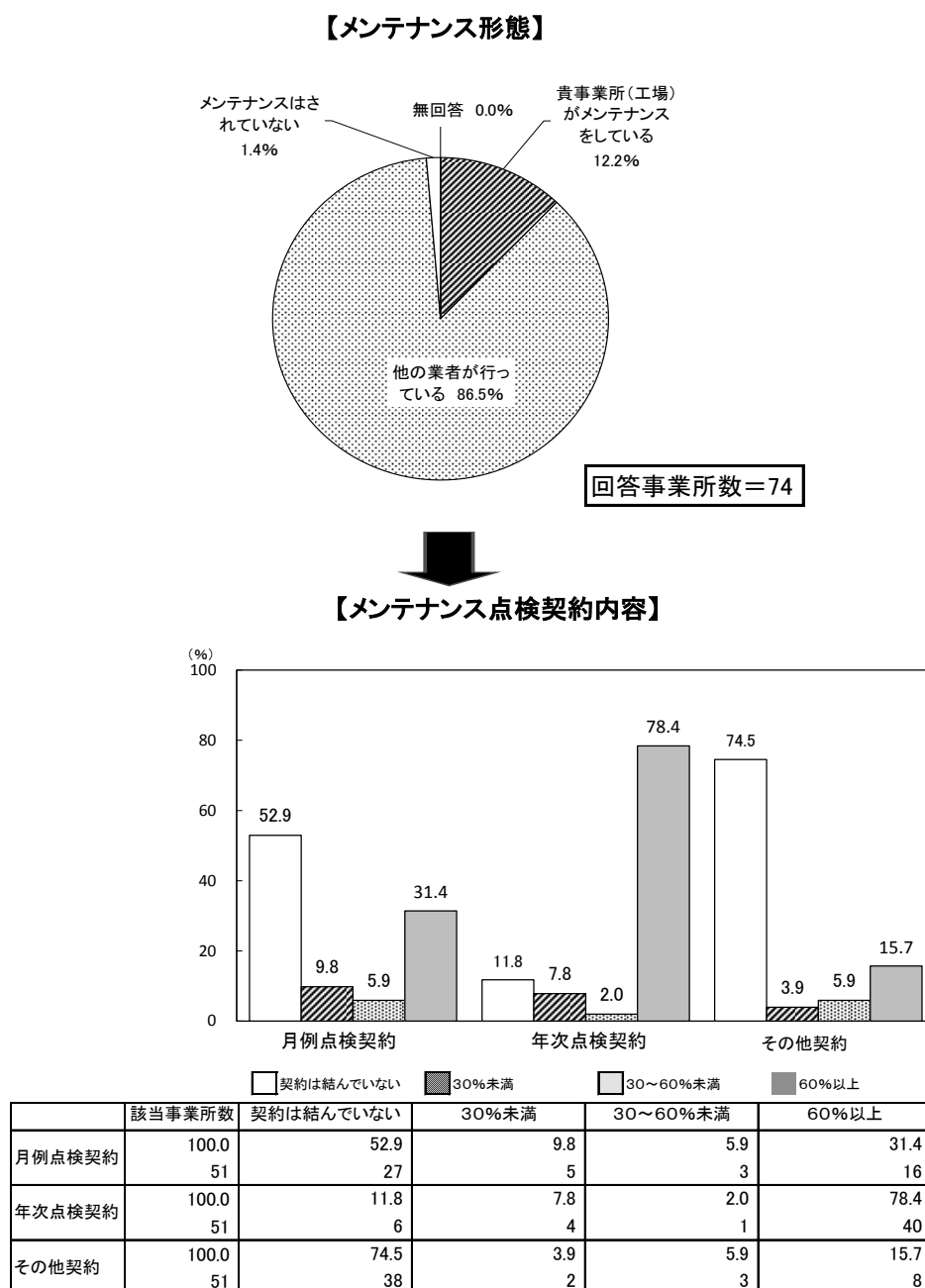
※新設購入・更新購入別割合は、「新設購入・更新購入別内訳」を回答した事業所の割合に平成28年度設置台数（実績）を乗じて新設購入・更新購入別台数を算出し、これをベースとして集計した。

V. メンテナンスの形態と点検契約内容について

メンテナンスの形態については、「他の業者が行っている」(86.5%)が圧倒的に多く、「貴事業所(工場)がメンテナンスをしている」が12.2%となっている。また「メンテナンスはされていない」というところも1.4%みられた。

メンテナンスを『他の業者が行っている』という事業所について、他の業者と結んでいる点検契約内容の割合をみると、以下の通りであった。『月例点検契約』については、「60%以上」が31.4%、「契約は結んでいない」が52.9%。『年次点検契約』については、「60%以上」が78.4%、「契約は結んでいない」が11.8%。『その他契約』については、「契約は結んでいない」が74.5%、「60%以上」が15.7%。以上から、①『年次点検契約』が最も多く、これに『月例点検契約』が次ぎ、『その他契約』は多くないこと、②複数の内容の契約に分散させることなく、一つの内容の契約に集中させる傾向が強いこと、の2点が明らかになった。

図表10 メンテナンス形態と点検契約内容

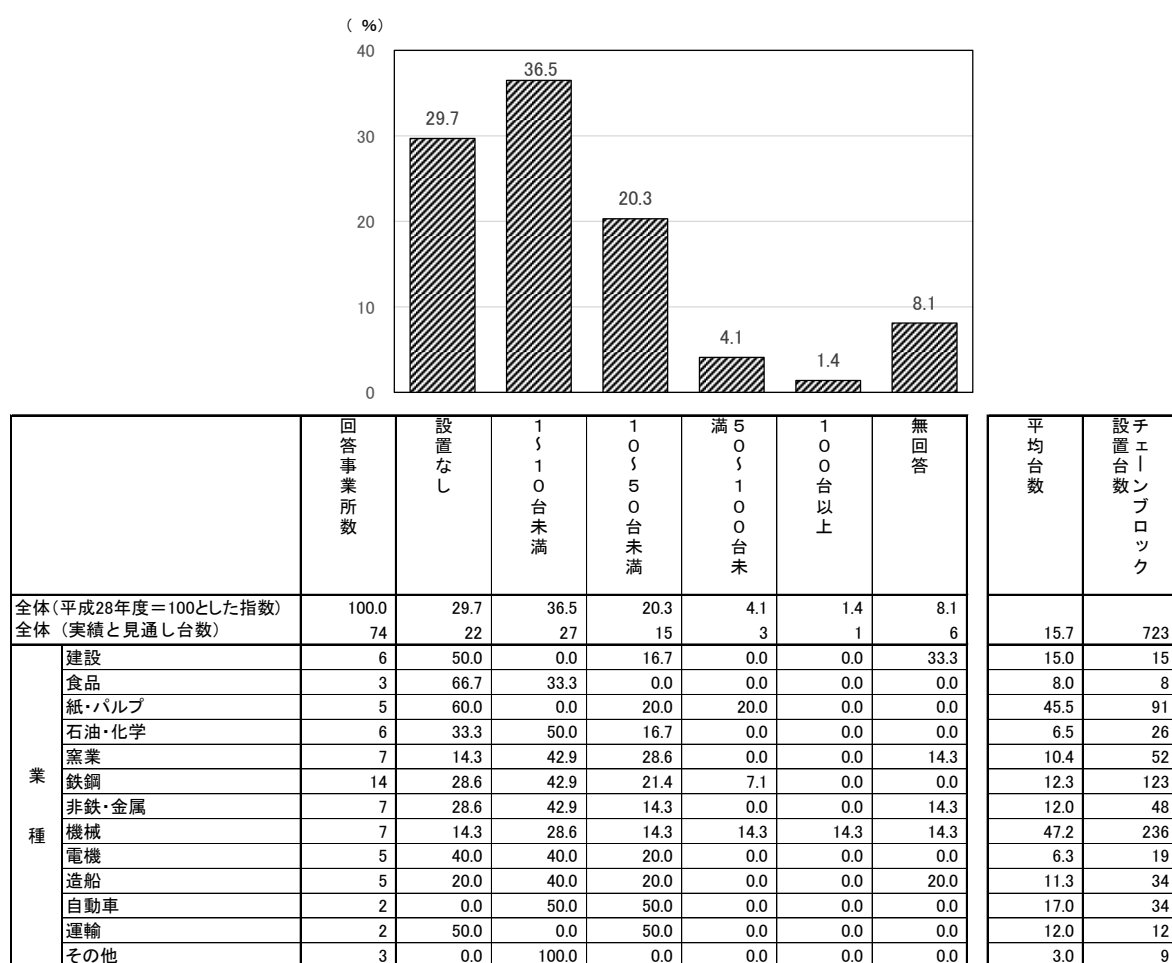


VI. 電気チェーンブロックの設置台数

電気チェーンブロックの設置台数は、全体で723台、1事業所あたり平均で15.7台であった。設置台数別事業所数の分布をみると、「設置なし」が29.7%存在し、設置しているところでは「1～10台未満」(36.5%)と「10～50台未満」(20.3%)が多かった。

回答事業所数が少ない業種(5事業所未満)を除いて、業種別に平均設置台数をみると、「機械」(47.2台)、「紙・パルプ」(45.5台)が多く、「電気」(6.3台)、「石油・化学」(6.5台)が少なかった。また、「設置なし」と回答した事業所は、「紙・パルプ」(60.0%)、「建設」(50.0%)が多かった。

図表11 電気チェーンブロックの設置台数



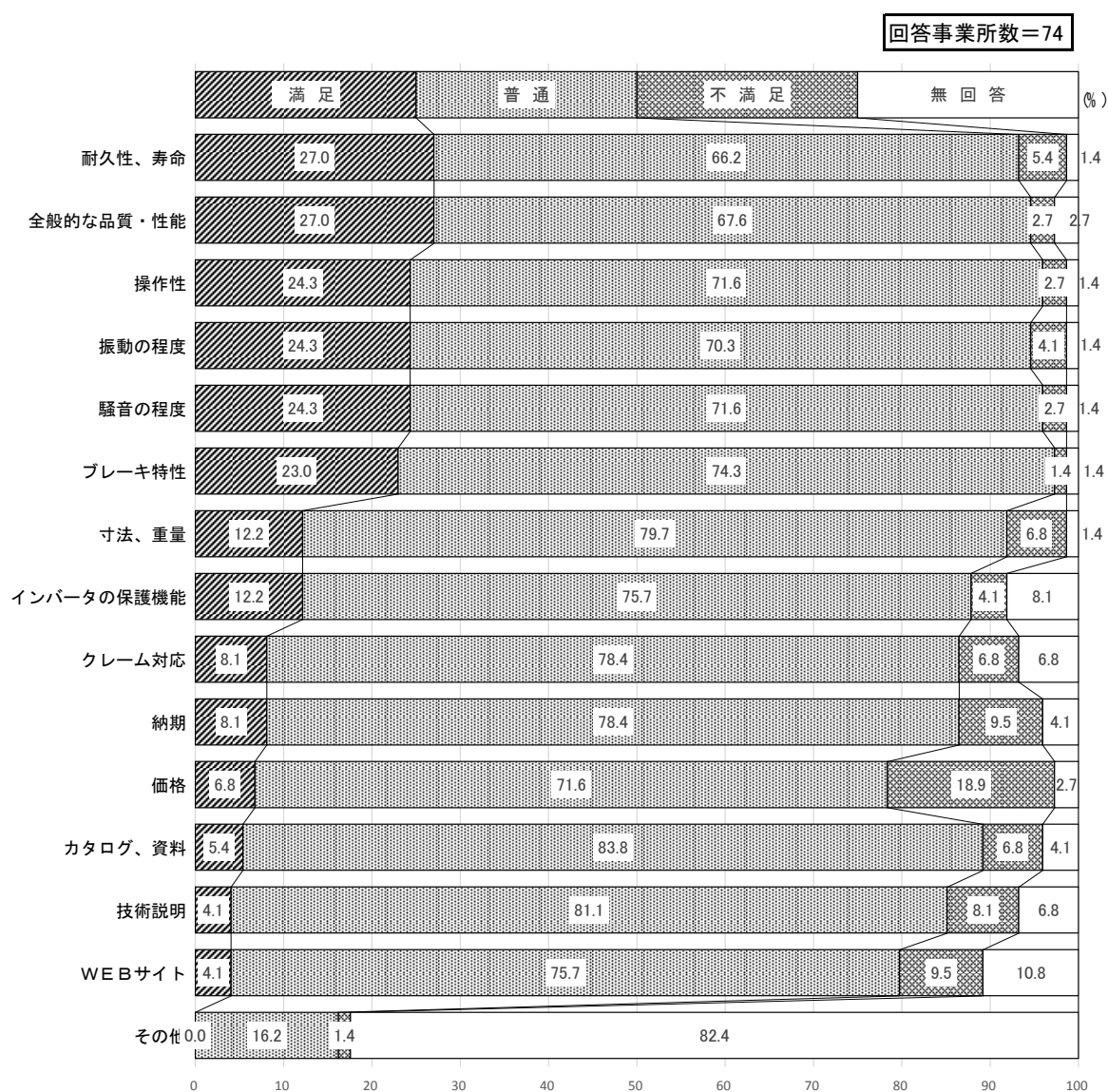
VII. 電気ホイスに対する評価・選定条件

1. 使用している電気ホイスの満足度

各評価項目別に満足度をみると、「耐久性、寿命」と「全般的な品質・性能」がそれぞれ27.0%で最も高く、次いで「操作性」、「振動の程度」、「騒音の程度」がそれぞれ24.3%、「ブレーキ特性」が23.0%で、上位のものとなっている。

一方、不満度が高いものとしては、「価格」(18.9%)、「WEBサイト」と「納期」(それぞれ9.5%) などがある。

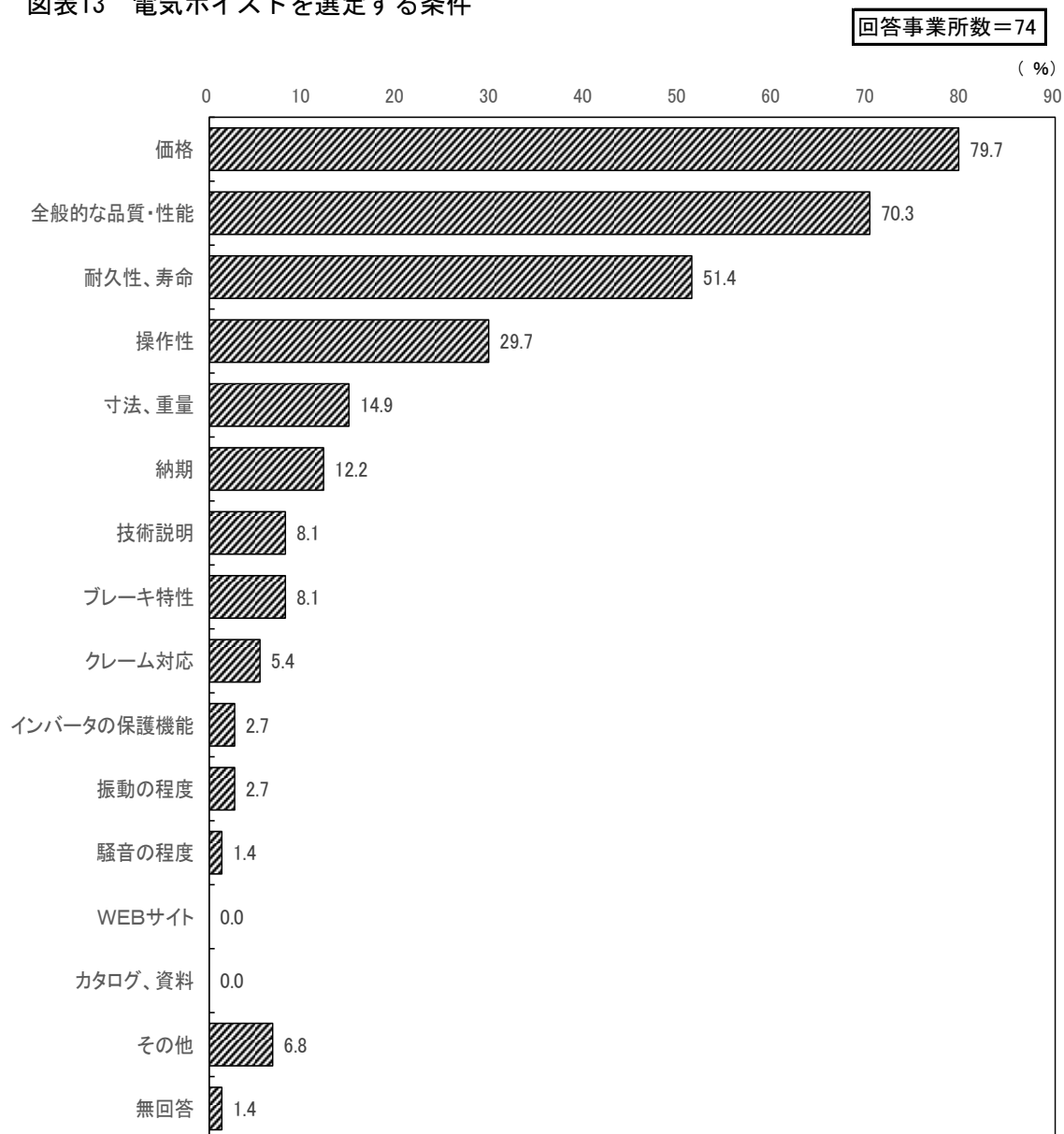
図表12 電気ホイスに対する評価



2. 電気ホイストを選定する条件

電気ホイストの選定条件としては、「価格」をあげる事業所が79.7%と最も多く、次いで「全般的な品質・性能」(70.3%)をあげる事業所が多くみられた。その他、「耐久性、寿命」をあげる事業所も51.4%に及んだ。

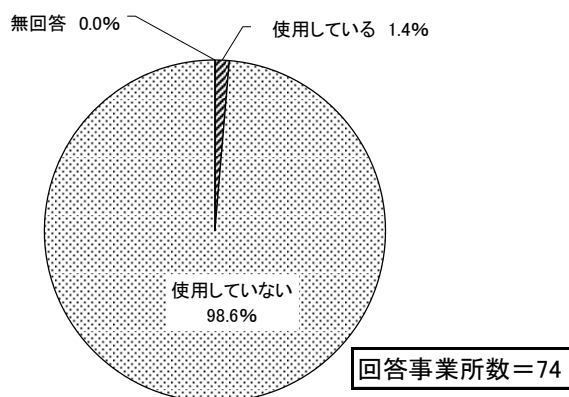
図表13 電気ホイストを選定する条件



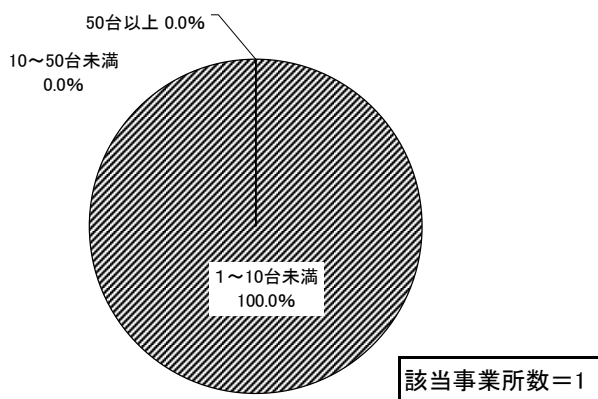
VIII. 海外メーカー電気ホイスの使用について

海外メーカー電気ホイス取り扱いについては、「使用している」事業所はわずかに1.4%であり、「使用していない」という事業所が98.6%となっている。

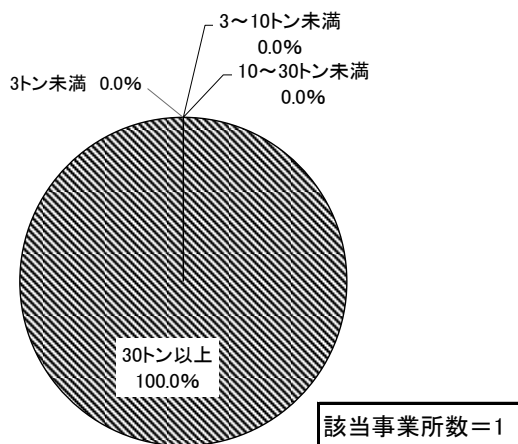
図表14-1 海外メーカーの電気ホイス使用の有無



図表14-2 海外メーカーの電気ホイス使用台数



図表14-3 海外メーカーの電気ホイス使用台数 容量別



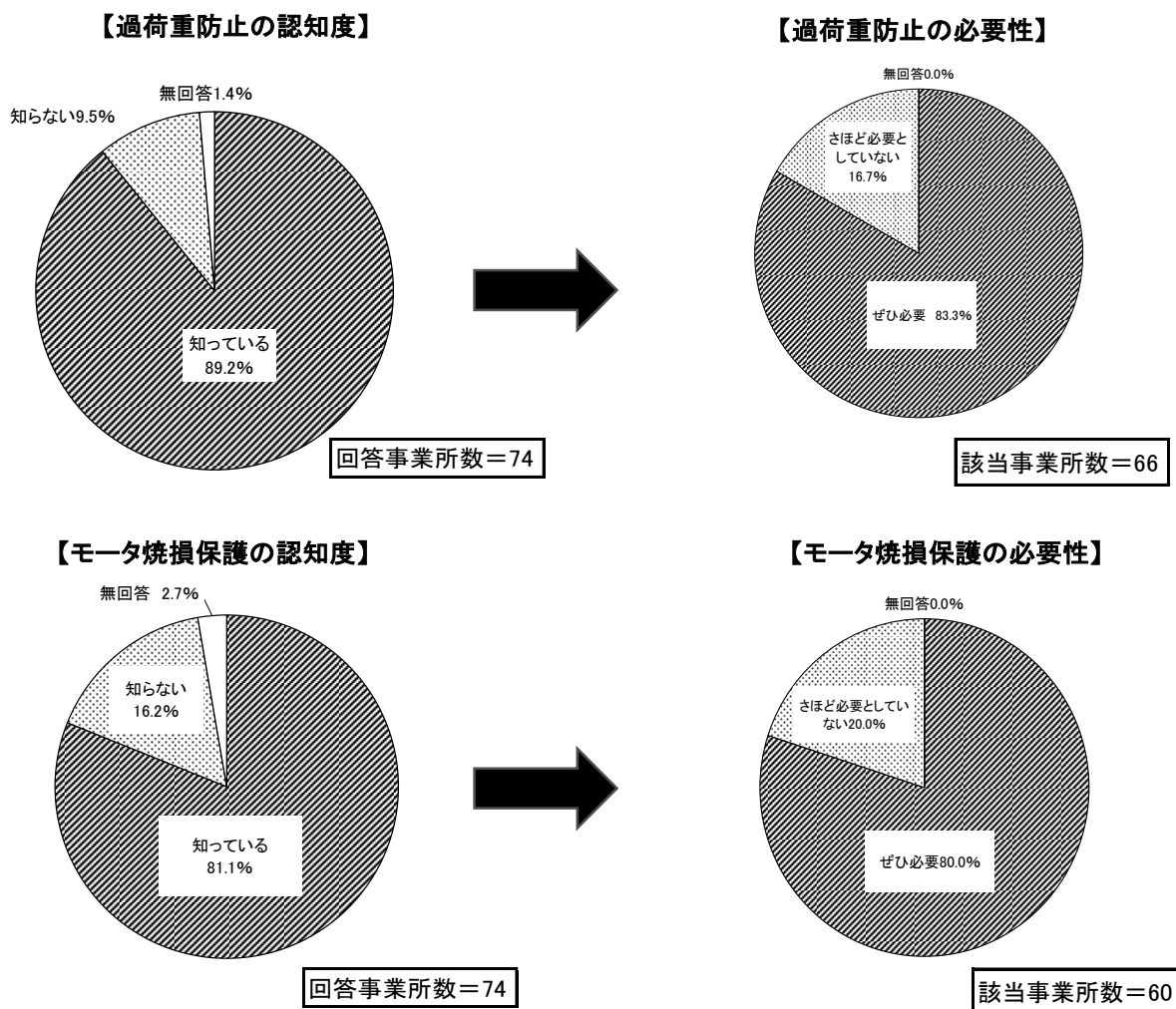
Ⅸ. 電気ホイスの安全装置について

電気ホイスの安全装置について、認知度と必要度を調べると以下のような結果となった。

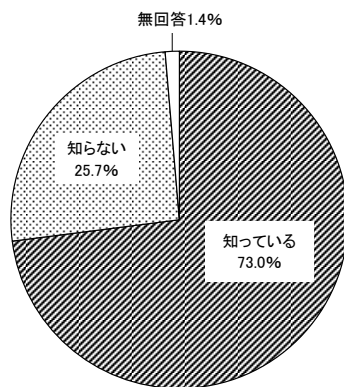
- ①『過荷重防止』を「知っている」という事業所は89.2%、そのうち83.3%が「ぜひ必要」、16.7%が「さほど必要としていない」と回答した。
- ②『モータ焼損保護』を「知っている」という事業所は81.1%、そのうち80.0%が「ぜひ必要」、20.0%が「さほど必要としていない」と回答した。
- ③『ロープガイド』を「知っている」という事業所は73.0%、そのうち74.1%が「ぜひ必要」、25.9%が「さほど必要としていない」と回答した。
- ④『下限リミットスイッチ』を「知っている」という事業所は78.4%、そのうち69.0%が「ぜひ必要」、31.0%が「さほど必要としていない」と回答した。

以上から、『過荷重防止』と『モータ焼損保護』については、認知事業所の8割前後が「ぜひ必要」としており、標準装備の必要度は高い。『ロープガイド』について「ぜひ必要」とする事業所は7割強、『下限リミットスイッチ』について「ぜひ必要」とする事業所は7割弱で、前2事項を下回りはするものの、いずれも必要度は低くない。

図表15 安全装置の認知度・必要性

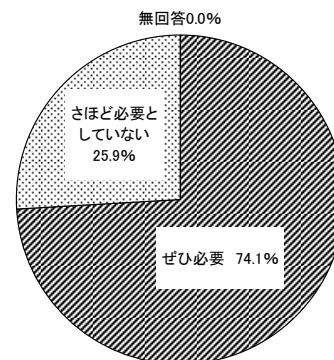


【ロープガイドの認知度】



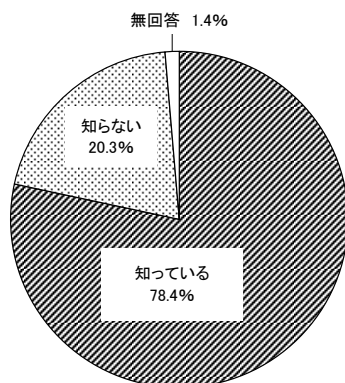
回答事業所数=74

【ロープガイドの必要性】



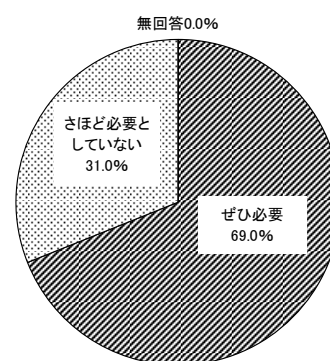
該当事業所数=54

【下限リミットスイッチの認知度】



回答事業所数=74

【下限リミットスイッチの必要性】



該当事業所数=58

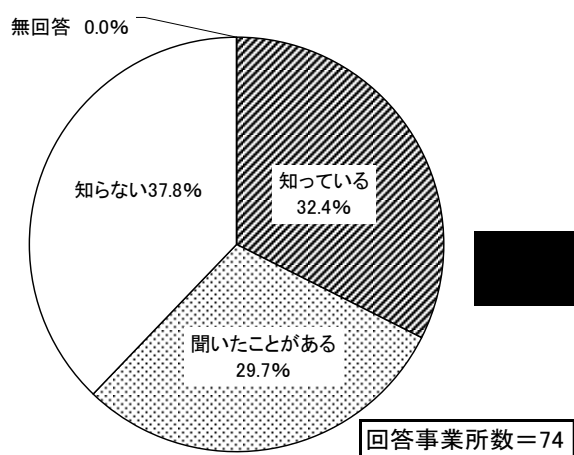
X. クレーン等級について

『クレーン及びホイストには、クレーン等級があり、寿命が規定されている』ということを、「知っている」と答えた事業所は32.4%、「聞いたことがある」（29.7%）という事業所を加えると62.1%であった。

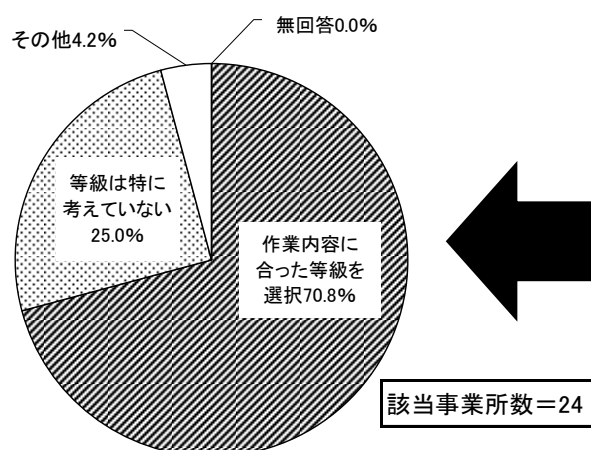
また、クレーン等級を「知っている」事業所のうち、購入の際に等級を考慮している事業所は70.8%であり、全事業所に占める割合でみると23.0%に止まった。

図表16 クレーン等級について

【クレーン等級・寿命規定の認知状況】



【購入時の等級考慮状況】



XI. 「巻上機の特別アセスメント」について

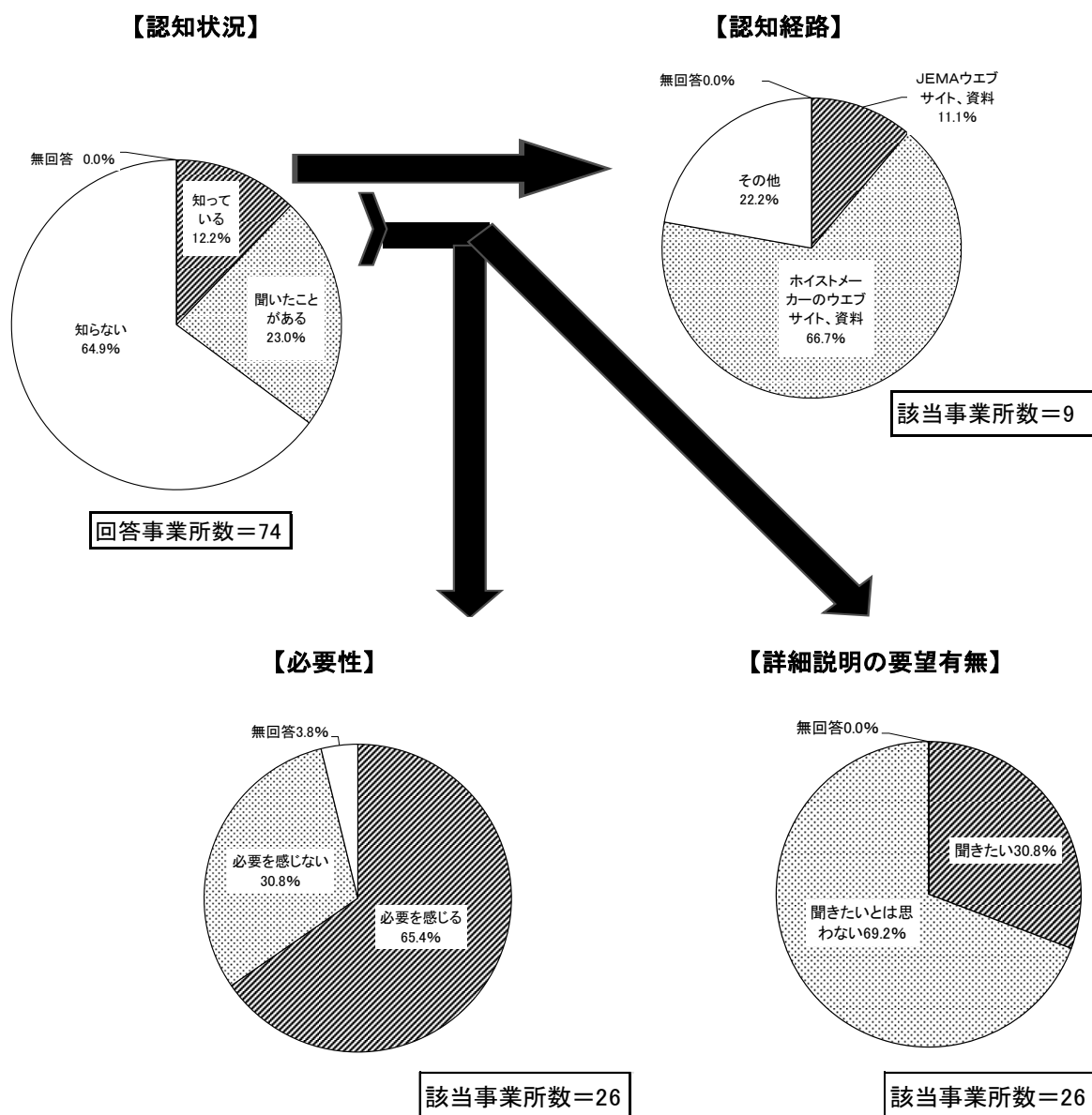
『巻上機の特別アセスメント』を「知っている」という事業所は12.2%、「聞いたことがある」は23.0%で、両者を合計した『巻上機特別アセスメント』の知名度は35.2%であった。

次に、『巻上機の特別アセスメント』を「知っている」という事業所について、その認知経路を調べると、「JEMAウェブサイト、資料」が11.1%、「ホイストメーカーのウェブサイト、資料」が66.7%、「その他」が22.2%であった。

また、『巻上機の特別アセスメント』を「知っている」または「聞いたことがある」という事業所に対して、その必要性を尋ねたところ、「必要性を感じる」と答えた事業所は65.4%と約3分の2にのぼった。

更に、これらの事業所を対象として、詳細説明への要望度を調べると、「聞きたい」という回答は30.8%で、「聞きたいとは思わない」は69.2%であった。

図表17 「巻上機の特別アセスメント」について



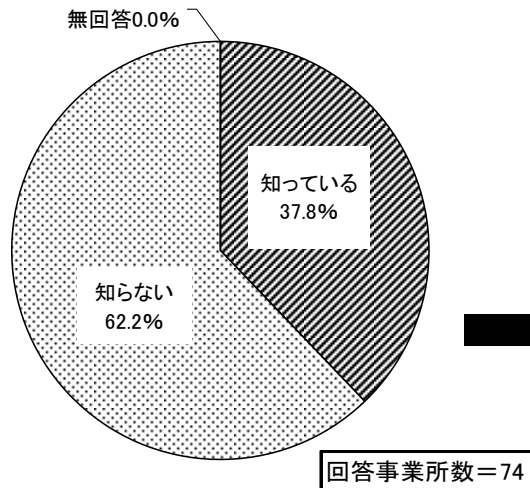
XII. 一般社団法人 日本電機工業会（JEMA）のウェブサイトについて

JEMAのウェブサイトを「知っている」という事業所は、37.8%で4割弱であった。

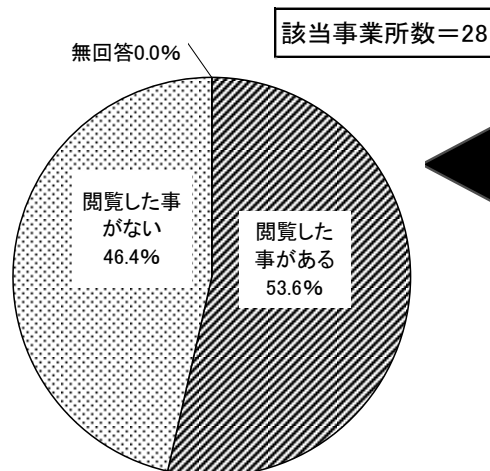
また、JEMAのウェブサイトを「知っている」事業所のうち、電気ホイストのページを「閲覧したことがある」事業所は53.6%であり、調査対象事業所全体でみると20.3%に止まった。

図表18 JEMAのウェブサイトについて

【ウェブサイトの認知状況】



【電気ホイストのページ閲覧状況】



付・調査票

<付 1・クレーン製造事業者もしくはセットメーカー向け>

電気ホイストに関する調査 (クレーン製造業者もしくはセットメーカー向け)

平成 29 年 11 月
一般社団法人 日本電機工業会
電気ホイスト業務専門委員会

- ① この調査は、「電気ホイスト」を取扱っている(出荷している)事業所(工場)を対象に、「電気ホイスト」に関する需要構造・実態と今後の需要動向等についてお伺いするものです。
- ② 当調査にご回答頂く、対象となる調査期間は平成28年度(平成28年4月～平成29年3月)の1年間の実績をもとにご記入下さい。
- ③ 本調査は事業所単位でお伺いするものですので、他の事業所(工場)は含みません。
- ④ ご記入頂く内容は、個人情報^(注)の取扱いに基づき、すべて統計数値として取り纏め、個々の内容については~~取~~扱いに致しますので、ご懸念なく正確にご記入下さい。
注：個人情報の取り扱いについて
個人情報の保護については、最大限の注意を払っております。ご回答いただいた内容は全て統計的に処理し、また、ご入力いただいた「貴社名」「ご担当者様名」など個人情報に関する一切の情報を第三者に対して開示することはありません。
- ⑤ 貴社の名称について不備な点がありましたら、お許しの程お願い申し上げます。
- ⑥ 誠に勝手ながら、ご記入頂いた「調査票」は平成29年12月8日(金)までに同封の返信用封筒にてご返送願います。
- ⑦ ご不明な点がございましたら、お手数ですが下記担当者宛お問い合わせ願います。

○返送先・問い合わせ先：〒102-0082

東京都千代田区一番町17-4
一般社団法人 日本電機工業会
重電部 三ツ橋
TEL 03-3556-5885/FAX 03-3556-5890
URL <http://www.jema-net.or.jp/>

I. 貴事業所の概要

貴社名			貴事業所 (工場)名	
所在地	本社	〒		
	事業所	〒		
資本金 (29年3月現在)	百万円		事業所の従業員数 (29年3月現在)	人
ご記入者 お名前			ご記入者 所属	
ご記入者 電話番号	() -		F A X	() -
貴事業所(工場)の電気ホイスト取扱いの有無(○で囲んでください) ※お取扱いでない場合は、次頁以降のアンケートには回答せず、上記『I. 貴事業所の概要』のみをご記入頂き、ご返送頂けますようお願い申し上げます。				有・無

Ⅱ．貴事業所（工場）の平成28年度における「電気ホイス」の取扱い（出荷）機種・台数についてお伺いします。

Ⅱ－１．取扱い（出荷）台数はおおよそどの位ですか。台数をお答え下さい。

平成28年度の取扱い（出荷）台数（ ）台

Ⅱ－２．平成28年度の容量別取扱い（出荷）台数について、全体を100として、その内訳を％でお答え下さい。

3トン未満	・・・	_____	％
3トン以上10トン未満	・・・	_____	％
10トン以上30トン未満	・・・	_____	％
30トン以上	・・・	_____	％
			=====
			1 0 0 ％

Ⅱ－３　今後の取扱い（出荷）台数の見通しについて
おおよそどのくらいとお考えですか。
平成28年度を100として％でお答え下さい。

平成28年度 （実績）	平成29年度 （見通し）	平成30年度 （見通し）
1 0 0 ％	％	％

Ⅲ．貴事業所（工場）の納入先についてお伺いします。

Ⅲ－１．納入先の購入内容について貴事業所（工場）ではどのようにとらえていますか。

Ⅱ－１でお答えいただいた平成28年度の取扱い（出荷）台数を100としてその内訳を％でお答え下さい。

（１）新設購入・更新購入別

新設購入	・・・	_____	％
更新購入	・・・	_____	％
			=====
			1 0 0 ％

（２）Ⅲ－１（１）で『更新購入』にご回答いただいた方にお伺いします。

具体的な内容について、更新購入を100としてその内訳を％でお答え下さい。

寿命のため	・・・	_____	％
容量変更のため	・・・	_____	％
高付加価値／ 高機能化のため	・・・	_____	％
その他・不明	・・・	_____	％
（ ）			
			=====
			1 0 0 ％

（３）Ⅲ－１（２）で『寿命のため』にご回答いただいた方にお伺いします。

ホイスの使用年数はどの程度でしたでしょうか？以下の中からお選びください。（１つに○）

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5～10年未満 | 3. 10～15年未満 |
| 4. 15～20年未満 | 5. 20～30年未満 | 6. 30年以上 |

Ⅲ－２．最近の電気ホイスットの需要について「増加傾向と思われる業種」・「減少傾向と思われる業種」を以下の中から選び、ご記入下さい。

1. 農・林業	2. 鉱業	3. 建設	4. 食品
5. 繊維	6. 紙・パルプ	7. 石油・化学	8. 窯業
9. 鉄鋼	10. 非鉄・金属	11. 機械	12. 電機
13. 造船	14. 自動車	15. 運輸	16. アミューズメント・サービス
17. 電力	18. ガス	19. I T	20. その他 ()

(1) 増加傾向と思われる業種はなんですか。(回答は各5つまで)

--	--	--	--	--

(2) 減少傾向と思われる業種はなんですか。(回答は各5つまで)

--	--	--	--	--

Ⅳ．速度制御について貴事業所（工場）での現在、および今後の取扱い数はどの程度とお考えですか。Ⅱ-1でお答えいただいた平成28年度の取扱い（出荷）台数を100として、その内訳を%でお答え下さい。

	平成28年度 (実績)	平成29年度 (見込み)	平成30年度 (見込み)
固定速	%	%	%
微速付	%	%	%
インバータ制御	%	%	%
計	100%	100%	100%

V. 納入先のメンテナンスについてお伺いします。

V-1. 貴事業所（工場）での現在までの納入先はおおよそ何社ですか。・・・（ 社）

V-2. 貴事業所（工場）の納入先で行っているメンテナンスの形態について、V-1でお答えいただいた現在までの納入先社数を100としてその内訳を％でお答え下さい。

1. 貴事業所（工場）がメンテナンスをしている。	・・・	_____	％
2. 納入先がメンテナンスをしている。	・・・	_____	％
3. 他の業者が行っている。	・・・	_____	％
4. メンテナンスはされていない。	・・・	_____	％
5. 不明	・・・	_____	％
			100％

V-3. V-2で『1. 貴事業所（工場）がメンテナンスをしている』にご回答いただいた方にお伺いします。
 貴事業所（工場）が納入先と結んでいるメンテナンス点検契約内容の割合についてお答え下さい。
 （合計が100％以上になっても結構です）

月例点検契約	％
年次点検契約	％
その他契約	％

VI. 貴事業所（工場）で電気チェンブロックをお取扱いでしたら、平成28年度の取扱い出荷台数をお答えください。

平成28年度の電気チェンブロックの取扱い（出荷）台数（ 台）

VI-2. 平成28年度の容量別取扱い（出荷）台数について、全体を100として、その内訳を％でお答え下さい。

3トン未満	・・・	_____	％
3トン以上10トン未満	・・・	_____	％
10トン以上30トン未満	・・・	_____	％
30トン以上	・・・	_____	％
			100％

VI-3 今後の取扱い（出荷）台数の見通しについて
 おおよそどのくらいとお考えですか。
 平成28年度を100として％でお答え下さい。

平成28年度 （実績）	平成29年度 （見通し）	平成30年度 （見通し）
100％	％	％

Ⅶ. 電気ホイスต์に対する評価・選定条件

Ⅶ－１． 貴事業所（工場）で使用している電気ホイスต์の満足度を各評価項目別に、１～３のいずれかを選択して○印をご記入下さい。（各１つに○）

		満足度		
		満 足	普 通	不満足
評 価 項 目	１ 全般的な品質・性能	１	２	３
	２ 騒 音 の 程 度	１	２	３
	３ 振 動 の 程 度	１	２	３
	４ ブレーキ特性	１	２	３
	５ 耐久性、寿命	１	２	３
	６ インバータの保護機能	１	２	３
	７ 寸 法 、 重 量	１	２	３
	８ 操 作 性	１	２	３
	９ 価 格	１	２	３
	１０ 納 期	１	２	３
	１１ カタログ、資料	１	２	３
	１２ WEB サイト	１	２	３
	１３ アフターサービス	１	２	３
	１４ 技 術 説 明	１	２	３
	１５ クレーム対応	１	２	３
	１６ その他（ ）	１	２	３

Ⅶ－２． 電気ホイスต์を選定する際に条件とするものを上記Ⅶ－１の１～１６評価項目より３つ選択し、該当する項目番号を以下にご記入下さい。

--	--	--

VIII. 貴事業所（工場）の平成28年度における「海外カーの電気ホイス」の取扱い（出荷）機種・台数についてお伺いします。

VIII-1. 取扱い（出荷）されていますか。

1. 取り扱っている 2. 取り扱っていない

VIII-2. VIII-1. で「1. 取り扱っている」とご回答いただいた方にお伺いします。

平成28年度の取扱い（出荷）台数について以下の中からお選びください。（1つに○）

1. 1～10台未満
2. 10～50台未満
3. 50台以上

VIII-3. 平成28年度の容量別取扱い（出荷）台数について、全体を100として、その内訳を％でお答え下さい。

3トン未満 …… %
3トン以上10トン未満 …… %
10トン以上30トン未満 …… %
30トン以上 …… %
_____ %
100 %

IX. 電気ホイスの安全装置についてお伺いします。

以下の安全装置の内容はご存知ですか。また、（1）で『1. 知っている』とご回答された方は（2）の標準装備の必要度についても、それぞれにご回答下さい。（各1つに○）

	（1）認 知			（2）必要度	
① 過 荷 重 防 止	1. 知っている	2. 知らない	⇒	1. コストアップしてもぜひ必要	2. さほど必要としない
② モ ー タ 焼 損 保 護	1. 知っている	2. 知らない	⇒	1. コストアップしてもぜひ必要	2. さほど必要としない
③ ロ ー プ ガ イ ド	1. 知っている	2. 知らない	⇒	1. コストアップしてもぜひ必要	2. さほど必要としない
④ 下限リミットスイッチ	1. 知っている	2. 知らない	⇒	1. コストアップしてもぜひ必要	2. さほど必要としない

X. 「巻上機の特別アセスメント」についてお伺いします。

X-1. 「巻上機の特別アセスメント」をご存知ですか。

1. 知っている 2. 聞いた事がある 3. 知らない

X-2. IX-1で『1. 知っている』とご回答いただいた方にお伺いします。
何でお知りになりましたか？（1つに○）

1. JEMAウェブサイト、資料
2. ホイスメーカーのウェブサイト、資料
3. その他（具体的にお書きください）

X－3. 必要性を感じますか。

1. はい 2. いいえ

X－4. メーカーから詳細な説明を聞きたいですか。

1. はい 2. いいえ

XI. 一般社団法人 日本電機工業会（JEMA）のウェブサイトについてお伺いします。

XI－1. JEMAのウェブサイトはご存知ですか。（1つに○）

1. 知っている 2. 知らない

XI－2. XI－1で『1. 知っている』とご回答いただいた方にお伺いします。

JEMAのウェブサイト内の電気ホイストのページ^(※1)を閲覧した事はございますか。
（1つに○）

1. 閲覧したことがある 2. 閲覧した事はない

（※1）JEMAウェブサイト内の電気ホイストのページ

U R L <http://www.jema-net.or.jp/Japanese/jyuden/hoist/index.htm>

—ご協力有難うございました。同封の返信用封筒に入れてご投函下さい。—

<付 2・ユーザー向け>

電気ホイス トに関する調査（ユーザ向け）

平成 29 年 11 月
一般社団法人 日本電機工業会
電気ホイス ト業務専門委員会

- ① この調査は、「電気ホイス ト」を使用している事業所（工場）を対象に、「電気ホイス ト」に関する需要構造の実態と今後の需要動向等についてお伺いするものです。
- ② 当調査にご回答頂く、対象となる調査期間は平成28年度（平成28年4月～平成29年3月）の1年間の実績をもとにご記入下さい。
- ③ 本調査は事業所単位でお伺いするものですので、他の事業所（工場）は含みません。
- ④ ご記入頂く内容は、個人情報^(注)の取扱いに基づき、すべて統計数値として取り纏め、個々の内容については[㊟]扱いに致しますので、ご懸念なく正確にご記入下さい。
注：個人情報の取り扱いについて
 個人情報の保護については、最大限の注意を払っております。ご回答いただいた内容は全て統計的に処理し、また、ご入力いただいた「貴社名」「ご担当者様名」など個人情報に関する一切の情報を第三者に対して開示することはありません。
- ⑤ 貴社の名称について不備な点がありましたら、お許しの程お願い申し上げます。
- ⑥ 誠に勝手ながら、ご記入頂いた「調査票」は平成29年12月8日(金)までに同封の返信用封筒にてご返送願います。
- ⑦ ご不明な点がございましたら、お手数ですが下記担当者宛お問い合わせ願います。

○返送先・問い合わせ先：〒102-0082

東京都千代田区一番町17-4
一般社団法人 日本電機工業会
重電部 三ツ橋
TEL 03-3556-5885/FAX 03-3556-5890
URL <http://www.jema-net.or.jp/>

I. 貴事業所の概要

貴社名			貴事業所 (工場)名			
所在地	本社	〒				
	事業所	〒				
資本金 (29年3月現在)	百万円		事業所の従業員数 (29年3月現在)	人		
ご記入者 お名前			ご記入者 所属			
ご記入者 電話番号	() —		F A X	() —		
貴事業所（工場）の電気ホイス トご使用の有無（○で囲んでください） ※ご使用でない場合は、次頁以降のアンケートには回答せず、上記『I. 貴事業所の概要』のみをご記入頂き、ご返送頂けますようお願い申し上げます。					有・無	

Ⅱ．現在、貴社で行っている主な業種を以下の中からお選び下さい。（1つに○）

1. 農・林業	2. 鉱業	3. 建設	4. 食品
5. 繊維	6. 紙・パルプ	7. 石油・化学	8. 窯業
9. 鉄鋼	10. 非鉄・金属	11. 機械	12. 電機
13. 造船	14. 自動車	15. 運輸	16. アミューズメント・サービス
17. 電力	18. ガス	19. I T	20. その他 ()

Ⅲ．貴事業所（工場）の平成28年度における「電気ホイス」の設置台数についてお伺いします。

Ⅲ－1．設置台数はおおよそどの位ですか。台数をお答え下さい。

平成28年度の設置台数 (台)

Ⅲ－2 今後の設置台数の見通しについておおよそ、どのくらいとお考えですか。
平成28年度を100として％でお答え下さい。

平成28年度 (実績)	平成29年度 (見通し)	平成30年度 (見通し)
100%	%	%

Ⅲ－3 現在、設置している中で、実際に稼動している台数をお答え下さい。

平成28年度の実稼動台数 (台)

Ⅲ－4 平成28年度のホイス1台における、1日あたりの平均稼動時間をお答え下さい。

ホイス1台における、1日あたりの平均稼動時間 (時間)

Ⅳ．貴事業所（工場）の今後の更新・購入計画についてお伺いします。

Ⅳ－1．電気ホイスの更新期間についてお伺いします。
ホイスの更新期間について以下の中からお選びください。（1つに○）

1. 5年未満	2. 5～10年未満	3. 10～15年未満	4. 15～20年未満
5. 20～30年未満	6. 30年以上	7. 更新を行った事がない	

Ⅲ－１でお答えいただいた平成28年度の設置台数を100としてその内訳を％でお答え下さい。

新設購入	・・・	_____	%
更新購入	・・・	_____	%
ストック品 ^{※注}	・・・	_____	%

1 0 0 %

※注『ストック品』とは平成22年度以前に購入したもの

容量変更のため …… %

高付加価値／
高機能化のため …… %

寿命のため …… %

その他・不明 …… %

()

100%

V-1. 貴事業所（工場）で行っているメンテナンスの形態について、以下の選択肢よりお選び下さい。（1つに○）

1. 貴事業所（工場）がメンテナンスをしている。
2. 他の業者が行っている。
3. メンテナンスはされていない。
4. 不明

V-2. V-1で『2. 他の業者が行っている。』と
ご回答いただいた方にお伺いします。
貴事業所（工場）が他の業者と結んでいる
メンテナンス点検契約内容の割合について
お答え下さい。
（合計が100%以上になっても結構です）

月例点検契約	%
年次点検契約	%
その他契約	%

VI. 貴事業所（工場）で電気チェーンブロックをご使用でしたら、平成28年度の設置台数をお答え下さい。

平成28年度の電気チェーンブロック設置台数（ 台）

VII. 電気ホイストに対する評価・選定条件

VII-1. 貴事業所（工場）で使用している電気ホイストの満足度を各評価項目別に、1～3のいずれかを選択して○印をご記入下さい。（各1つに○）

		満足度		
		満 足	普 通	不満足
評 価 項 目	1 全般的な品質・性能（バランス）	1	2	3
	2 騒 音 の 程 度	1	2	3
	3 振 動 の 程 度	1	2	3
	4 ブレーキ特性	1	2	3
	5 耐久性、寿命	1	2	3
	6 インバータの保護機能	1	2	3
	7 寸 法 、 重 量	1	2	3
	8 操 作 性	1	2	3
	9 価 格	1	2	3
	10 納 期	1	2	3
	11 カタログ、資料	1	2	3
	12 WEB サイト	1	2	3
	13 アフターサービス			
	14 技 術 説 明	1	2	3
	15 クレーン対応	1	2	3
	16 その他（ ）	1	2	3

VII-2. 電気ホイストを選定する際に条件とするものをVII-1の1～16の評価項目より3つ選択し、該当する項目番号を以下にご記入下さい。

--	--	--

VIII. 貴事業所（工場）の平成28年度における「海外カーの電気ホイス」の取扱い（出荷）機種・台数についてお伺いします。

VIII－1. 使用されていますか。

1. 使用している	2. 使用していない
-----------	------------

VIII－2. VIII－1. で「1. 使用している」とご回答いただいた方にお伺いします。

平成28年度の使用している台数について以下の中からお選びください。（1つに○）

1. 1～10台未満
2. 10～50台未満
3. 50台以上

VIII－3. 平成28年度の容量別の使用している台数について、全体を100として、その内訳を％でお答え下さい。

3トン未満	・・・	_____	％
3トン以上10トン未満	・・・	_____	％
10トン以上30トン未満	・・・	_____	％
30トン以上	・・・	_____	％
			1 0 0 ％

IX. 電気ホイスの更新期間についてお伺いします。

ホイスの更新期間について以下の中からお選び下さい。（1つに○）

1. 5 年未満	2. 5～10 年未満	3. 10～15 年未満	4. 15～20 年未満
5. 20～30 年未満	6. 30 年以上	7. 更新を行った事がない	

X. 電気ホイスの安全装置についてお伺いします。

以下の安全装置の内容はご存知ですか。また、（1）で『1. 知っている』とご回答された方は（2）の標準装備の必要性についても、それぞれにご回答下さい。（各1つに○）

	（1）認 知			（2）必要度	
① 過 荷 重 防 止	1. 知っている	2. 知らない	⇒	1. コストアップしてもぜひ必要	2. さほど必要としない
② モ ー タ 焼 損 保 護	1. 知っている	2. 知らない	⇒	1. コストアップしてもぜひ必要	2. さほど必要としない
③ ロ ー プ ガ イ ド	1. 知っている	2. 知らない	⇒	1. コストアップしてもぜひ必要	2. さほど必要としない
④ 下限リミットスイッチ	1. 知っている	2. 知らない	⇒	1. コストアップしてもぜひ必要	2. さほど必要としない

XI. クレーン等級についてお伺いします。

XI－1. クレーン及びホイストには、クレーン等級があり、寿命（使用限度）が規定されていることを知っていますか。（1つに○）

1. 知っている 2. 聞いた事がある 3. 知らない

XI－2. XI－1で『1. 知っている』とご回答いただいた方にお伺いします。
購入するときに等級を考慮されていますか。（1つに○）

1. 購入するときに、作業状態を考え、作業に合った等級を選択している。
2. 今まで、ホイストを使ってきた経験から、今まで通りとして、等級は特に考えていない。
3. その他

XII. 「巻上機の特別アセスメント」についてお伺いします。

XII－1. 「巻上機の特別アセスメント」をご存知ですか。

1. 知っている 2. 聞いた事がある 3. 知らない

XII－2. XII－1で『1. 知っている』とご回答いただいた方にお伺いします。
何でお知りになりましたか？（1つに○）

1. JEMAウェブサイト、資料
2. ホイストメーカーのウェブサイト、資料
3. その他（具体的にお書きください）

XII－3. 必要性を感じますか。

1. はい 2. いいえ

XII－4. メーカーから詳細な説明を聞きたいですか。

1. はい 2. いいえ

XⅢ. 一般社団法人 日本電機工業会（JEMA）のウェブサイトについてお伺いします。

XⅢ－1. JEMAのホームページはご存知ですか。（1つに○）

1. 知っている 2. 知らない

XⅢ－2. XⅢ－1で『1. 知っている』とご回答いただいた方にお伺いします。

JEMAのウェブサイト内の電気ホイストのページ^(※1)を閲覧した事がございますか。
（1つに○）

1. 閲覧したことがある 2. 閲覧した事はない

(※1) JEMAウェブサイト内の電気ホイストのページ

URL <http://www.jema-net.or.jp/Japanese/jyuden/hoist/index.htm>

—ご協力有難うございました。同封の返信用封筒に入れてご投函下さい。—

◆電気ホイスト業務専門委員会◆

(五十音順)

I H I 運搬機械株式会社

株式会社 神内電機製作所

株式会社 キ ト ー

東洋ホイスト株式会社

日本ホイスト株式会社

株式会社日立産機システム

三菱電機 F A 産業機器株式会社

平成 29 年度 電気ホイストに関する使用状況調査報告書

発 行 年 平成 30 年 3 月

発 行 者 一般社団法人日本電機工業会 電気ホイスト業務専門委員会
〒102-0082 東京都千代田区一番町 17 番地 4
電話 03-3556-5885 FAX03-3556-5890
URL www.jema-net.or.jp

禁無断転載

